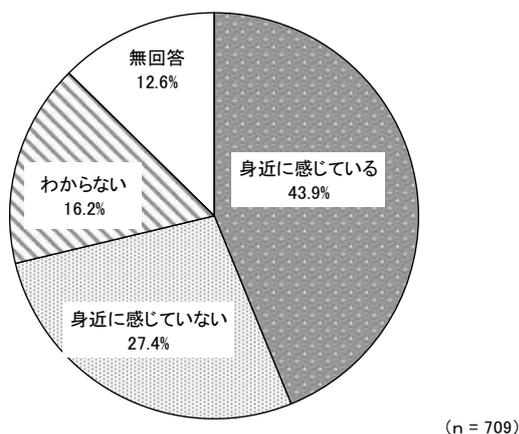


### Ⅲ 調査結果

#### 1 人権問題の身近さに対する意識について [問 1]

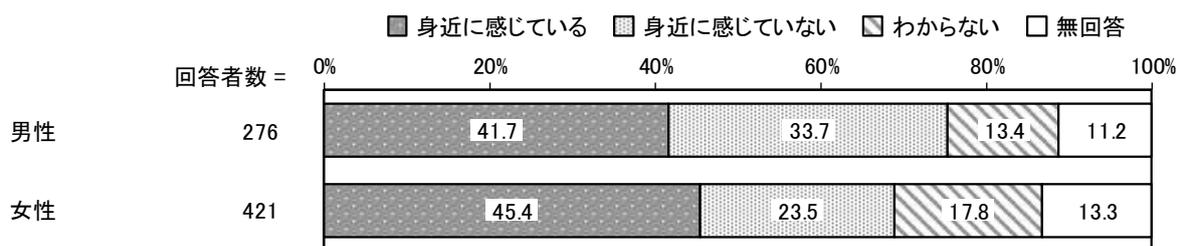
問 1 あなたは「人権」を身近な問題として感じていますか。(○は1つ)

【図 1 - 1 人権問題の身近さに対する意識 (全体)】



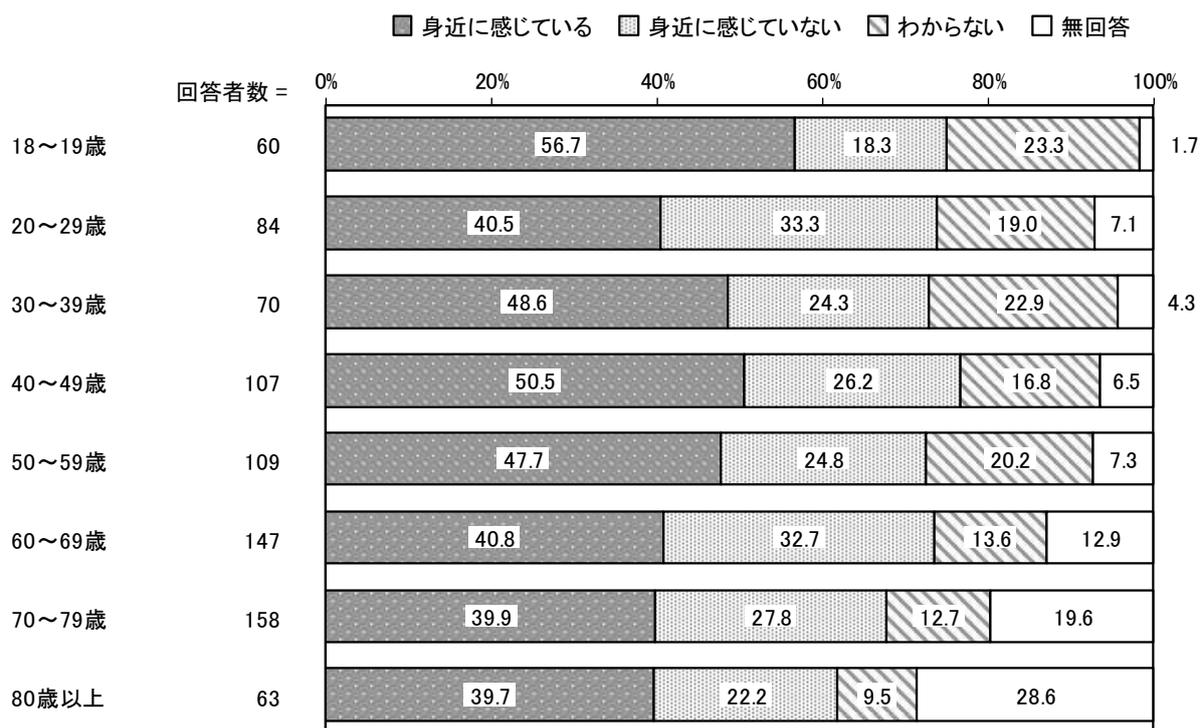
「身近に感じている」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「身近に感じていない」の割合が 27.4%、「わからない」の割合が 16.2%となっています。

【図 1 - 2 人権問題の身近さに対する意識 (性別)】



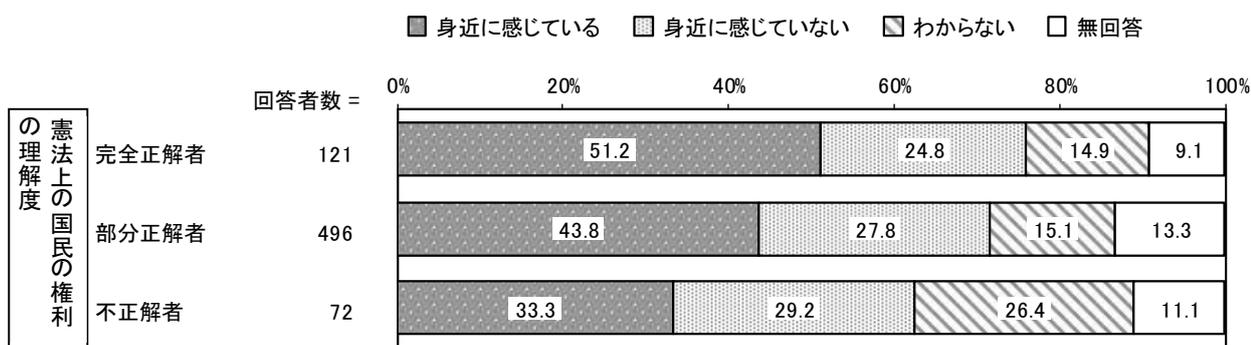
性別で見ると、「身近に感じていない」の割合は、女性よりも男性が 10.2 ポイント高くなっています。

【図 1 - 3 人権問題の身近さに対する意識（年齢別）】



年齢別でみると、「身近に感じている」の割合は、18～19歳で高く、6割近くとなっています。一方、「身近に感じていない」の割合は、20～29歳、60～69歳で高く、それぞれ3割を超えています。

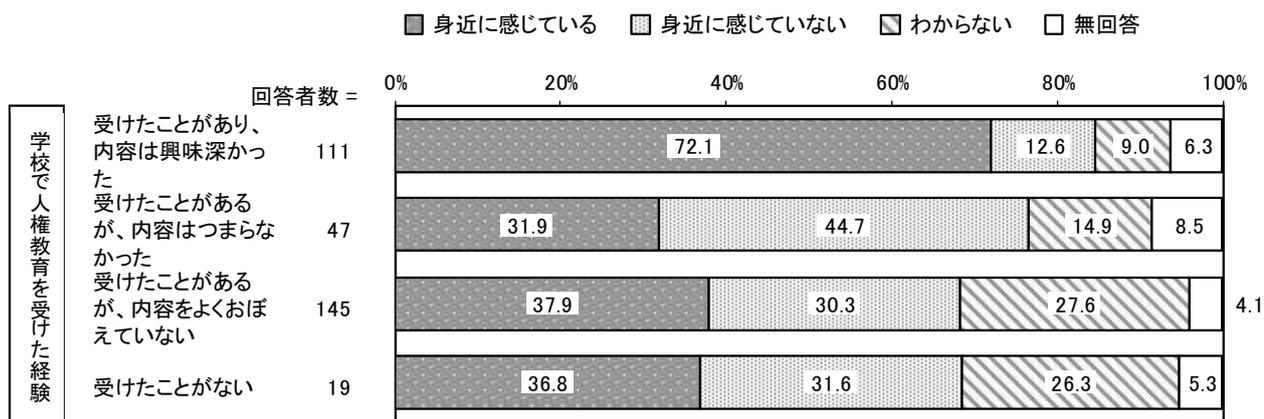
【図 1 - 4 憲法上の国民の権利の理解度別人権問題の身近さに対する意識】



憲法上の国民の権利の理解度別でみると、理解度が高い人ほど「身近に感じている」の割合が高くなっています。

※『問 6 国民の権利として決められていると思うもの』の設問において、正答である「思っていることを世間に発表する」「人間らしい暮らしをする」「労働組合をつくる」の3つだけを選択した回答者を「完全正解者」、正答である3つのうちの一部だけを選択するか、これら3つの全部または一部を選択したうえで、他の項目も選択した回答者を「部分正解者」、正答である3つ以外の項目だけを選択した回答者を「不正解者」として分類集計し、一部設問とクロス集計を行いました。（以下同様）

【図 1-5 学校で人権教育を受けた経験別人権問題の身近さに対する意識】

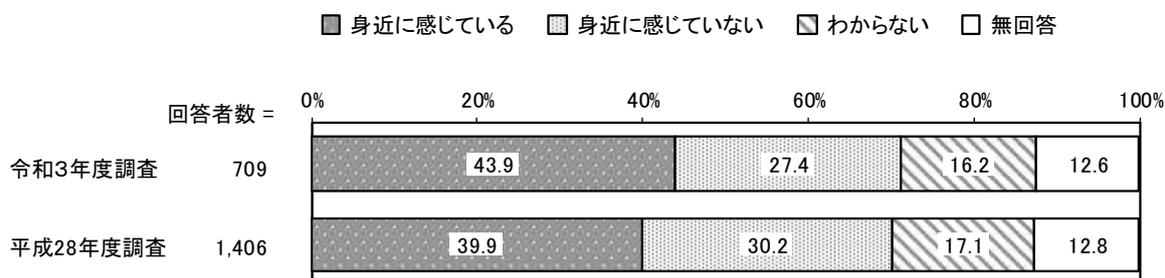


※60歳未満の方を対象としています。

学校で人権教育を受けた経験別でみると、「受けたことがあり、内容は興味深かった」で「身近に感じている」の割合が最も高く、7割を超えています。

※差別や人権に関する教育(以下、人権教育)を受けたことがないという回答を年齢別にみると(50ページ)、60歳未満の各年齢層ではいずれも10%未満ですが、60～69歳22.4%、70～79歳48.1%、80歳以上50.8%と、60歳以上で「受けたことがない」の割合が高くなっています。そのため、年齢制限を設けずに、人権教育を受けた経験の有無別にクロス集計を行うと、人権教育を受けた経験の有無別の比較が人権教育を受けた人が多い60歳未満と、受けていない人が多い60歳以上との比較とあまり変わらなくなり、そのクロス集計から読み取れる傾向が人権教育を受けた経験の有無によるものであるのかどうかの判断が難しくなります。そこで、人権教育の効果を判定するために、人権教育を受けた経験の割合に大きな差がみられない60歳未満に限定することにしましたが、60歳未満の「受けたことがない」は19件しかなく、何らかの傾向を読み取るには十分とは言えない数字となりました。そのため、人権教育の効果については、「受けたことがあり、内容は興味深かった」と、「受けたことがあるが、内容はつまらなかった」「受けたことがあるが、内容をよくおぼえていない」を比較することによって考察することにしました。

【図 1-6 前回調査との比較】

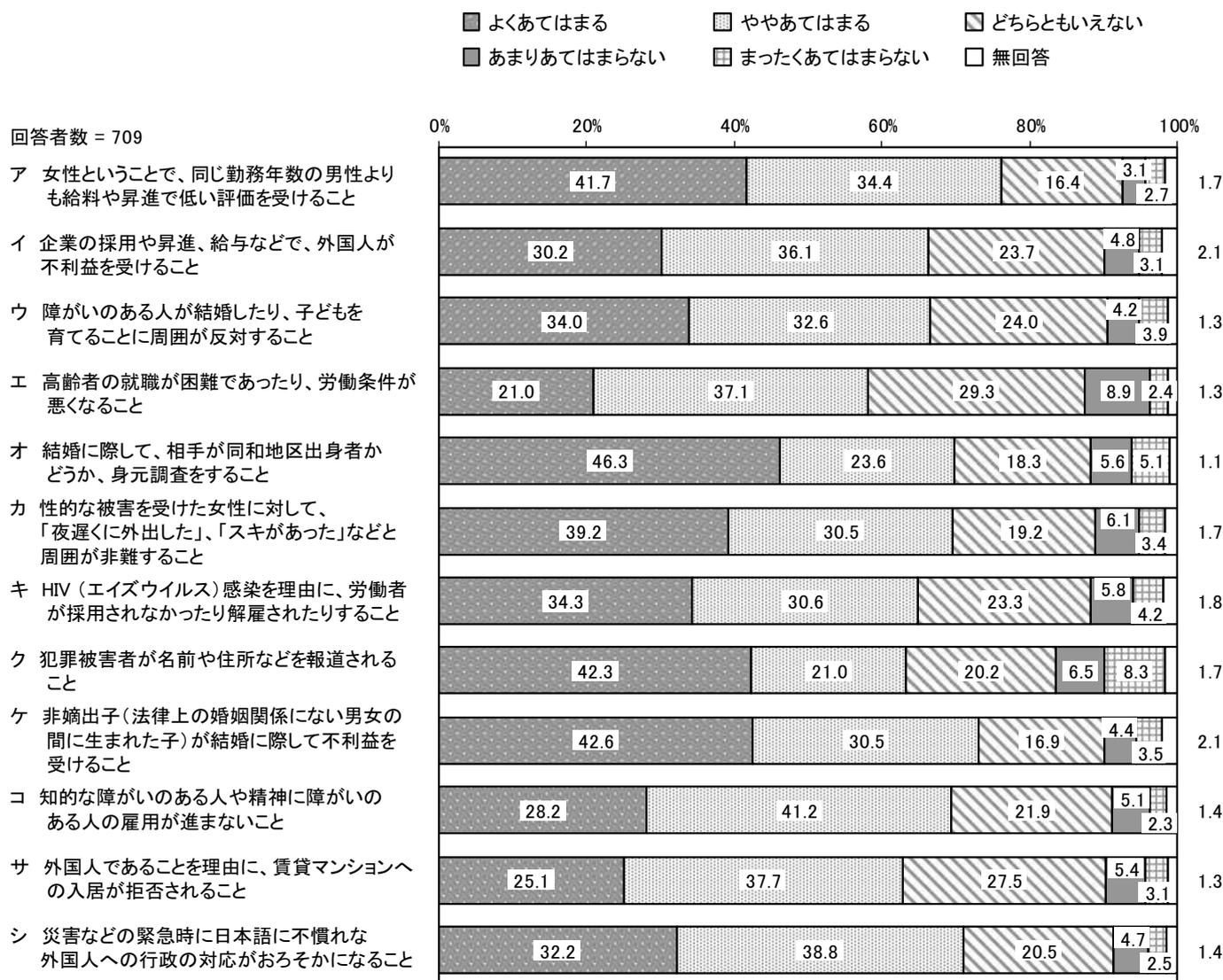


前回調査と比較すると、「身近に感じている」の割合が4.0ポイント増加しています。

## 2 人権侵害の認識状況について [問2]

問2 あなたは、次のようなことは人権侵害にあてはまると思いませんか。  
ア～シのそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つ)

【図2-1 人権侵害の認識状況(全体)】



“ア 女性ということで、同じ勤務年数の男性よりも給料や昇進で低い評価を受けること” “ケ 非嫡出子(法律上の婚姻関係にない男女の間に生まれた子)が結婚に際して不利益を受けること” “シ 災害などの緊急時に日本語に不慣れな外国人への行政の対応がおろそかになること” の3項目で「よくあてはまる」と「ややあてはまる」をあわせた『あてはまる』の割合が7割以上となっています。

【表2-1 人権侵害の認識状況（性別・年齢別）】

ア 女性ということで、同じ勤務年数の男性よりも給料や昇進で低い評価を受けること

イ 企業の採用や昇進、給与などで、外国人が不利益を受けること

単位：％

区分		回答者数(件)	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
性別	男性	276	39.5	32.6	17.0	4.3	4.3	2.2
	女性	421	43.5	35.4	16.2	2.1	1.4	1.4
年齢別	18～19歳	60	65.0	20.0	8.3	1.7	5.0	—
	20～29歳	84	46.4	33.3	11.9	3.6	4.8	—
	30～39歳	70	57.1	24.3	12.9	2.9	2.9	—
	40～49歳	107	49.5	37.4	12.1	—	0.9	—
	50～59歳	109	45.9	31.2	17.4	2.8	2.8	—
	60～69歳	147	40.8	34.0	17.7	3.4	2.7	1.4
	70～79歳	158	27.2	39.9	22.8	4.4	2.5	3.2
	80歳以上	63	36.5	38.1	14.3	3.2	—	7.9

区分		回答者数(件)	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
		276	29.7	32.6	26.8	5.8	3.3	1.8
		421	30.4	38.7	21.4	4.3	2.9	2.4
		60	46.7	33.3	11.7	5.0	3.3	—
		84	32.1	38.1	21.4	4.8	3.6	—
		70	41.4	28.6	22.9	4.3	2.9	—
		107	38.3	31.8	21.5	4.7	2.8	0.9
		109	30.3	38.5	22.9	4.6	3.7	—
		147	27.2	41.5	23.8	2.7	3.4	1.4
		158	25.9	38.6	26.6	5.1	1.9	1.9
		63	17.5	36.5	23.8	6.3	1.6	14.3

ウ 障がいのある人が結婚したり、子どもを育てることに周囲が反対すること

エ 高齢者の就職が困難であったり、労働条件が悪くなること

単位：％

区分		回答者数(件)	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
性別	男性	276	37.0	29.3	23.6	4.0	4.7	1.4
	女性	421	32.1	34.7	24.5	4.0	3.6	1.2
年齢別	18～19歳	60	53.3	28.3	8.3	6.7	3.3	—
	20～29歳	84	41.7	31.0	22.6	2.4	2.4	—
	30～39歳	70	44.3	24.3	21.4	8.6	1.4	—
	40～49歳	107	37.4	31.8	28.0	0.9	1.9	—
	50～59歳	109	30.3	35.8	27.5	2.8	3.7	—
	60～69歳	147	28.6	41.5	22.4	4.1	3.4	—
	70～79歳	158	32.9	28.5	25.3	4.4	6.3	2.5
	80歳以上	63	25.4	31.7	22.2	6.3	6.3	7.9

区分		回答者数(件)	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
		276	18.8	37.0	29.0	10.9	3.3	1.1
		421	21.9	37.5	29.9	7.6	1.7	1.4
		60	20.0	46.7	23.3	5.0	5.0	—
		84	15.5	38.1	28.6	10.7	6.0	1.2
		70	18.6	38.6	27.1	14.3	1.4	—
		107	20.6	29.9	38.3	6.5	4.7	—
		109	23.9	31.2	35.8	8.3	0.9	—
		147	19.7	40.8	29.3	8.2	0.7	1.4
		158	20.3	36.7	26.6	10.1	4.4	1.9
		63	20.0	46.7	23.3	5.0	5.0	—

【表2-1 人権侵害の認識状況（性別・年齢別）】

オ 結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか、身元調査をすること

カ 性的な被害を受けた女性に対して、「夜遅くに外出した」、「スキがあった」などと周囲が非難すること

単位：％

区分		回答者数(件)	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
性別	男性	276	43.1	23.6	17.8	6.9	7.2	1.4
	女性	421	48.9	23.3	18.3	4.8	3.8	1.0
年齢別	18～19歳	60	65.0	23.3	6.7	1.7	3.3	—
	20～29歳	84	44.0	26.2	19.0	3.6	7.1	—
	30～39歳	70	62.9	14.3	14.3	4.3	4.3	—
	40～49歳	107	57.0	21.5	15.0	4.7	1.9	—
	50～59歳	109	47.7	26.6	15.6	4.6	5.5	—
	60～69歳	147	49.7	21.1	19.7	5.4	4.1	—
	70～79歳	158	33.5	28.5	20.9	8.2	6.3	2.5
	80歳以上	63	34.9	23.8	19.0	7.9	7.9	6.3

区分		回答者数(件)	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
		276	32.2	30.1	23.2	5.8	6.9	1.8
		421	44.4	30.4	16.6	5.9	1.0	1.7
		60	60.0	25.0	10.0	3.3	1.7	—
		84	44.0	26.2	20.2	6.0	3.6	—
		70	55.7	24.3	10.0	4.3	4.3	1.4
		107	48.6	31.8	13.1	4.7	1.9	—
		109	45.9	29.4	20.2	2.8	1.8	—
		147	39.5	28.6	22.4	4.8	3.4	1.4
		158	25.3	34.8	22.2	8.9	5.7	3.2
		63	22.2	36.5	25.4	7.9	1.6	6.3

キ HIV（エイズウイルス）感染を理由に、労働者が採用されなかつたり解雇されたりすること

ク 犯罪被害者が名前や住所などを報道されること

単位：％

区分		回答者数(件)	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
性別	男性	276	30.8	30.8	25.0	6.2	5.4	1.8
	女性	421	36.8	30.2	22.3	5.5	3.3	1.9
年齢別	18～19歳	60	63.3	20.0	13.3	1.7	1.7	—
	20～29歳	84	46.4	28.6	20.2	1.2	3.6	—
	30～39歳	70	48.6	24.3	20.0	2.9	4.3	—
	40～49歳	107	46.7	24.3	21.5	6.5	0.9	—
	50～59歳	109	37.6	37.6	18.3	1.8	4.6	—
	60～69歳	147	27.9	34.7	24.5	7.5	2.7	2.7
	70～79歳	158	25.3	31.6	24.7	8.9	6.3	3.2
	80歳以上	63	22.2	28.6	30.2	6.3	6.3	6.3

区分		回答者数(件)	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
		276	36.2	23.9	20.7	6.2	11.6	1.4
		421	46.3	19.0	20.2	6.9	5.7	1.9
		60	53.3	26.7	15.0	1.7	3.3	—
		84	44.0	19.0	16.7	4.8	15.5	—
		70	54.3	14.3	14.3	8.6	8.6	—
		107	48.6	25.2	16.8	2.8	6.5	—
		109	47.7	17.4	19.3	7.3	8.3	—
		147	45.6	21.1	21.1	2.0	8.8	1.4
		158	27.8	23.4	23.4	12.7	9.5	3.2
		63	31.7	22.2	30.2	6.3	1.6	7.9

【表2-1 人権侵害の認識状況（性別・年齢別）】

ケ 非嫡出子（法律上の婚姻関係にない男女の間に生まれた子）が結婚に際して不利益を受けること

コ 知的な障がいのある人や精神に障がいのある人の雇用が進まないこと

単位：％

区分		回答者数（件）	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
性別	男性	276	40.9	30.4	18.1	4.3	4.3	1.8
	女性	421	43.7	30.4	16.2	4.5	2.9	2.4
年齢別	18～19歳	60	58.3	23.3	11.7	3.3	3.3	—
	20～29歳	84	48.8	27.4	17.9	1.2	4.8	—
	30～39歳	70	58.6	22.9	14.3	2.9	1.4	—
	40～49歳	107	50.5	30.8	15.9	2.8	—	—
	50～59歳	109	48.6	31.2	16.5	0.9	2.8	—
	60～69歳	147	38.8	39.5	14.3	3.4	3.4	0.7
	70～79歳	158	30.4	29.7	20.9	7.0	7.0	5.1
	80歳以上	63	34.9	23.8	15.9	12.7	3.2	9.5

区分		回答者数（件）	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
性別	男性	276	27.9	38.0	22.5	7.6	2.5	1.4
	女性	421	28.5	43.5	21.1	3.6	1.9	1.4
年齢別	18～19歳	60	35.0	43.3	15.0	5.0	1.7	—
	20～29歳	84	34.5	40.5	14.3	6.0	4.8	—
	30～39歳	70	35.7	40.0	18.6	4.3	1.4	—
	40～49歳	107	27.1	36.4	29.0	4.7	2.8	—
	50～59歳	109	33.0	35.8	24.8	5.5	0.9	—
	60～69歳	147	23.1	50.3	17.7	5.4	3.4	—
	70～79歳	158	22.8	43.0	23.4	6.3	1.3	3.2
	80歳以上	63	28.6	39.7	19.0	3.2	1.6	7.9

サ 外国人であることを理由に、賃貸マンションへの入居が拒否されること

シ 災害などの緊急時に日本語に不慣れた外国人への行政の対応がおろそかになること

単位：％

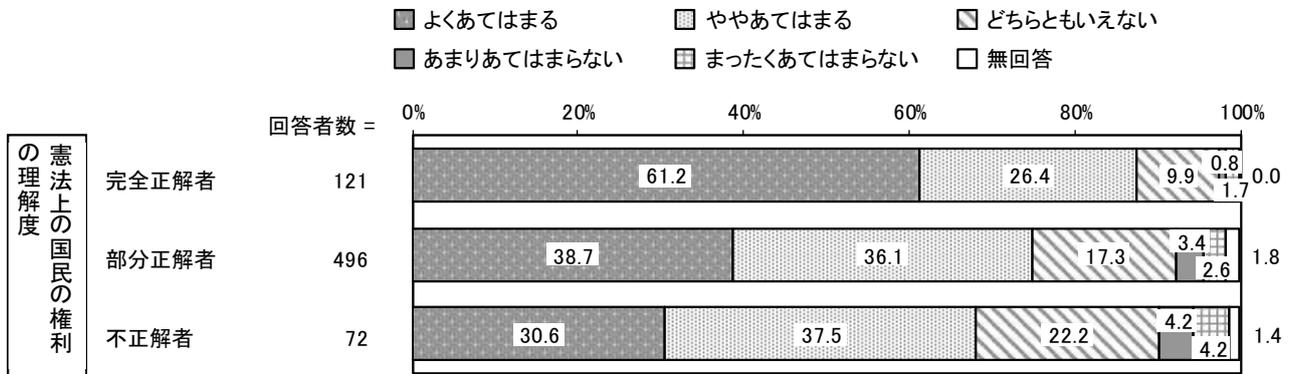
区分		回答者数（件）	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
性別	男性	276	24.3	36.2	26.4	6.9	4.7	1.4
	女性	421	25.7	39.0	28.3	4.0	1.9	1.2
年齢別	18～19歳	60	55.0	21.7	15.0	3.3	5.0	—
	20～29歳	84	39.3	22.6	27.4	4.8	6.0	—
	30～39歳	70	37.1	34.3	17.1	10.0	1.4	—
	40～49歳	107	26.2	36.4	31.8	4.7	0.9	—
	50～59歳	109	22.0	42.2	27.5	4.6	3.7	—
	60～69歳	147	22.4	44.2	26.5	2.0	4.1	0.7
	70～79歳	158	21.5	36.1	31.6	5.1	3.2	2.5
	80歳以上	63	14.3	42.9	23.8	11.1	1.6	6.3

区分		回答者数（件）	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
性別	男性	276	26.8	39.9	22.1	5.8	4.0	1.4
	女性	421	35.6	38.5	19.2	3.8	1.4	1.4
年齢別	18～19歳	60	38.3	30.0	21.7	5.0	5.0	—
	20～29歳	84	35.7	33.3	23.8	1.2	6.0	—
	30～39歳	70	40.0	31.4	20.0	8.6	—	—
	40～49歳	107	31.8	37.4	27.1	3.7	—	—
	50～59歳	109	33.9	37.6	21.1	4.6	2.8	—
	60～69歳	147	36.1	39.5	17.0	2.7	3.4	1.4
	70～79歳	158	27.8	42.4	18.4	7.0	1.9	2.5
	80歳以上	63	23.8	41.3	20.6	3.2	4.8	6.3

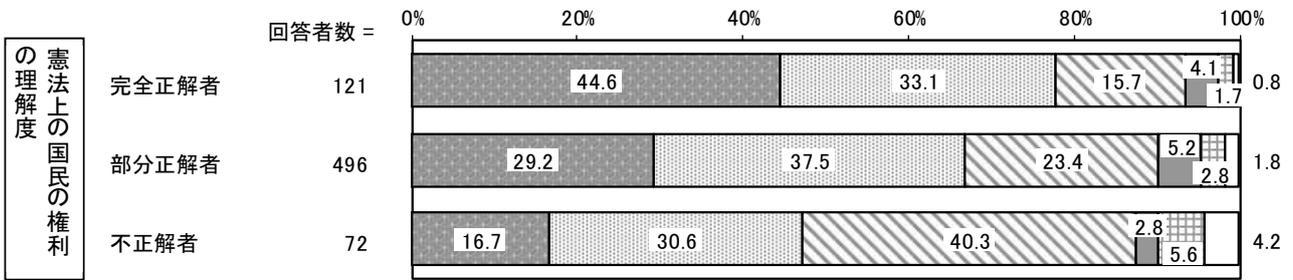
性別・年齢別で見ると、“ア 女性ということで、同じ勤務年数の男性よりも給料や昇進で低い評価を受けること”“オ 結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか、身元調査をすること”“カ 性的な被害を受けた女性に対して、「夜遅くに外出した」、「スキがあった」などと周囲が非難すること”の項目において『あてはまる』の割合が18～19歳で高くなっています。また、“ア 女性ということで、同じ勤務年数の男性よりも給料や昇進で低い評価を受けること”では『あてはまる』の割合が40～49歳も高くなっています。

【図2-2 憲法上の国民の権利の理解度別人権侵害の認識状況】

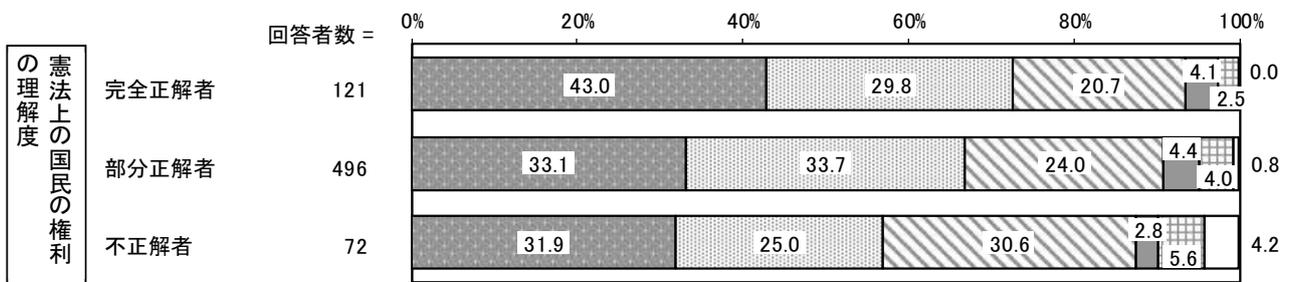
ア 女性ということで、同じ勤務年数の男性よりも給料や昇進で低い評価を受けること



イ 企業の採用や昇進、給与などで、外国人が不利益を受けること

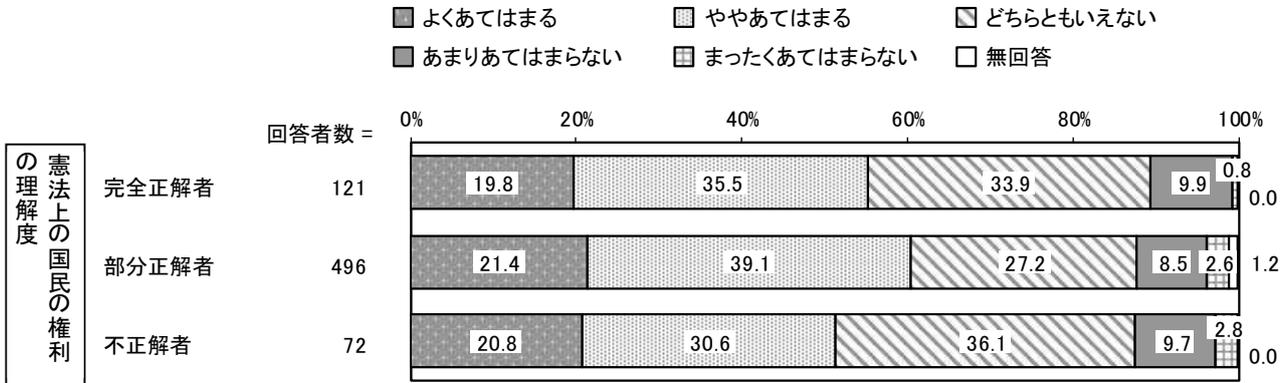


ウ 障がいのある人が結婚したり、子どもを育てることに周囲が反対すること

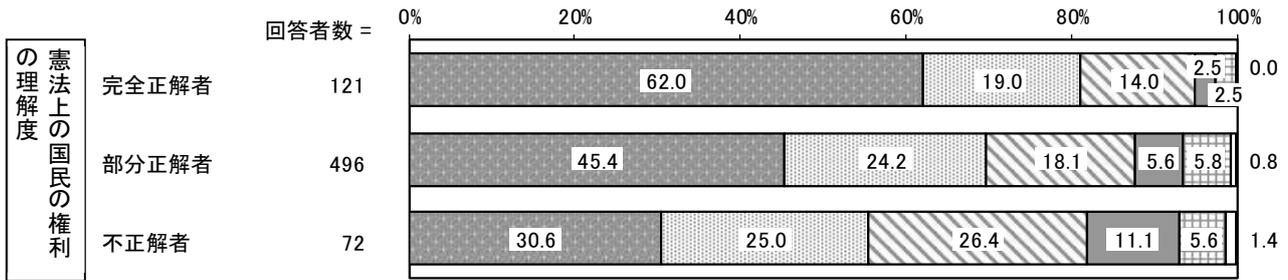


【図2-2 憲法上の国民の権利の理解度別人権侵害の認識状況】

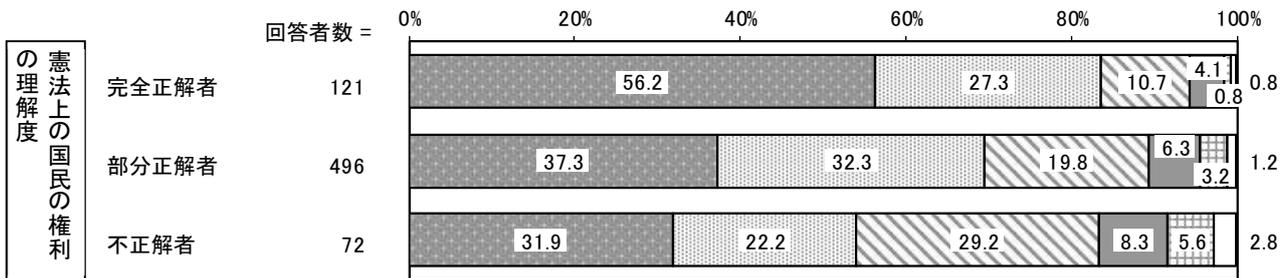
エ 高齢者の就職が困難であったり、労働条件が悪くなること



オ 結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか、身元調査をすること

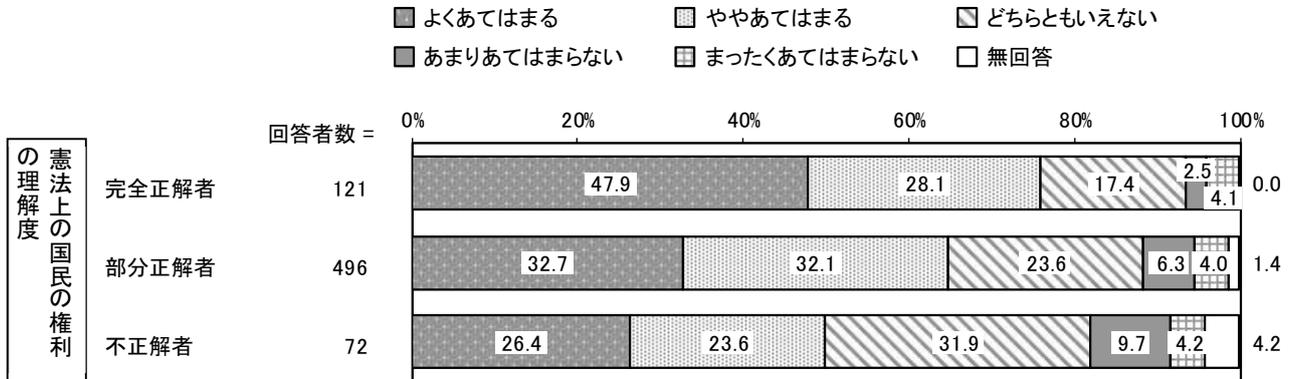


カ 性的な被害を受けた女性に対して、「夜遅くに外出した」、「スキがあった」などと周囲が非難すること

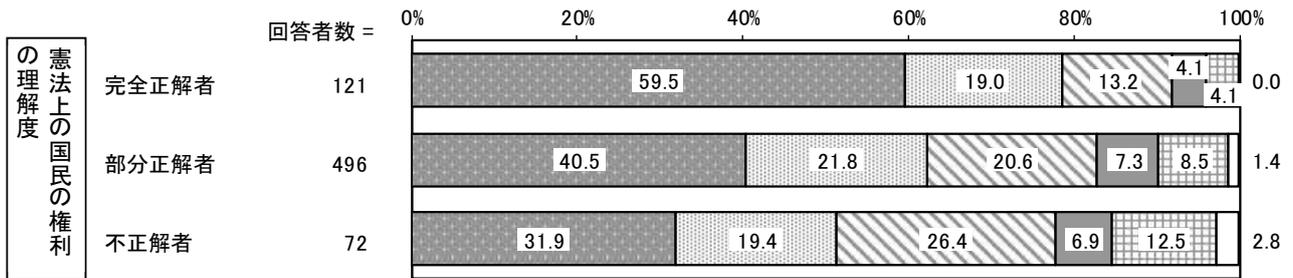


【図2-2 憲法上の国民の権利の理解度別人権侵害の認識状況】

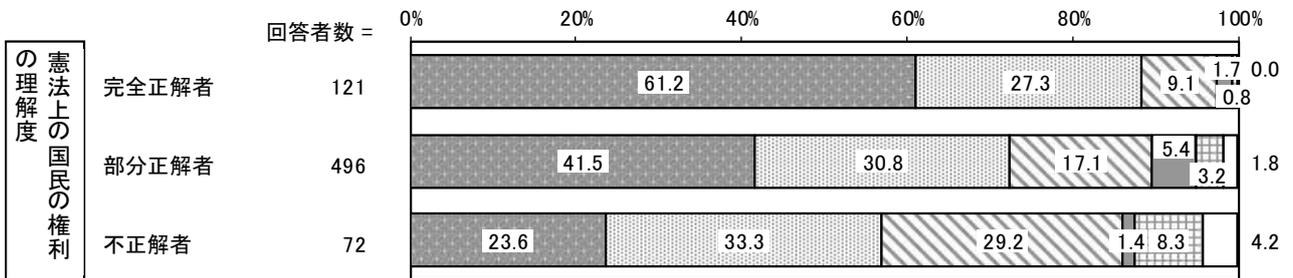
キ HIV（エイズウイルス）感染を理由に、労働者が採用されなかったり解雇されたりすること



ク 犯罪被害者が名前や住所などを報道されること

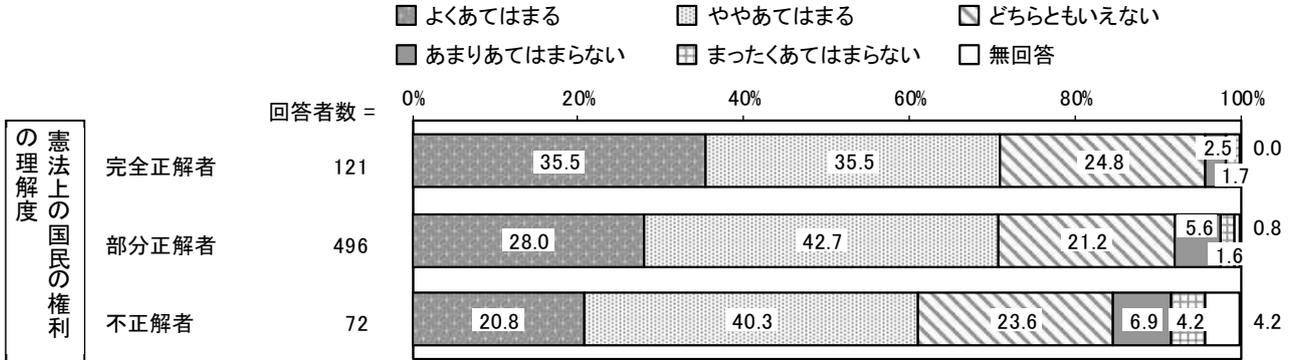


ケ 非嫡出子（法律上の婚姻関係にない男女の間に生まれた子）が結婚に際して不利益を受けること

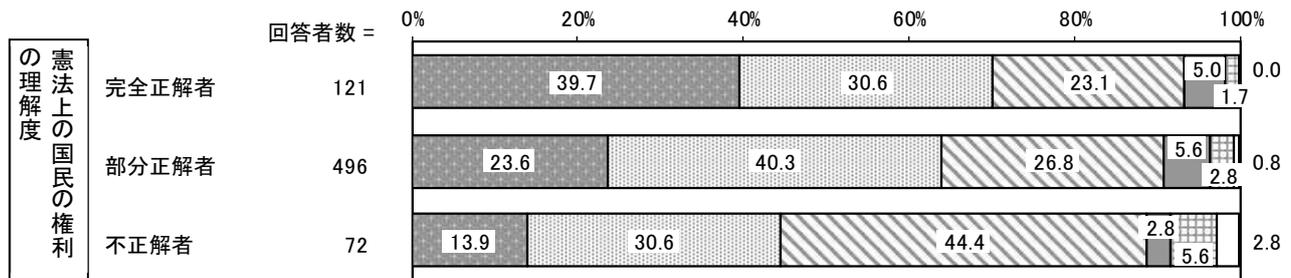


【図2-2 憲法上の国民の権利の理解度別人権侵害の認識状況】

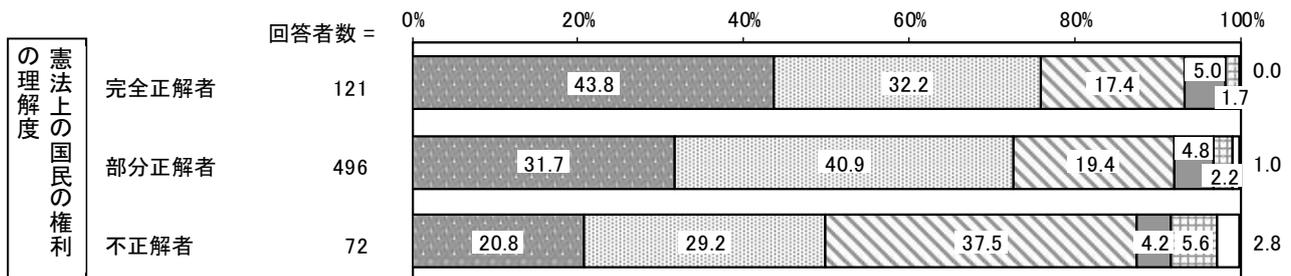
コ 知的な障がいのある人や精神に障がいのある人の雇用が進まないこと



サ 外国人であることを理由に、賃貸マンションへの入居が拒否されること



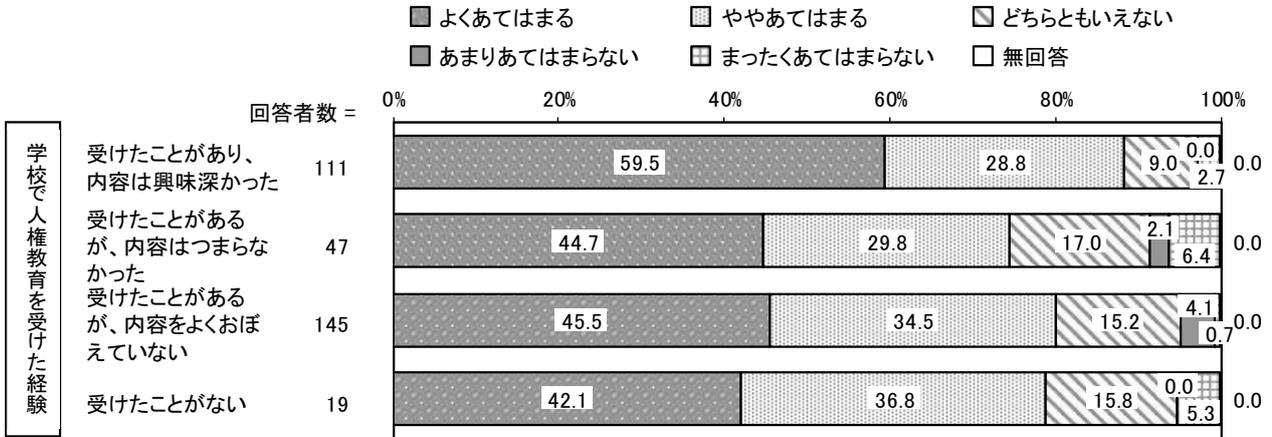
シ 災害などの緊急時に日本語に不慣れな外国人への行政の対応がおろそかになること



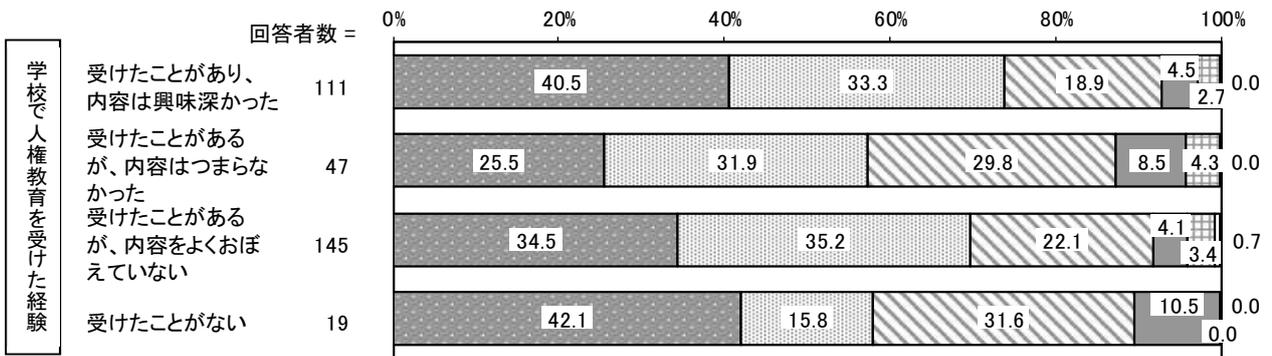
憲法上の国民の権利の理解度別でみると、“エ 高齢者の就職が困難であったり、労働条件が悪くなること” “コ 知的な障がいのある人や精神に障がいのある人の雇用が進まないこと” の項目を除いて、国民の権利の理解度が高い人ほど『あてはまる』の割合が高くなる傾向がみられます。

【図2-3 学校で人権教育を受けた経験別人権侵害の認識状況】

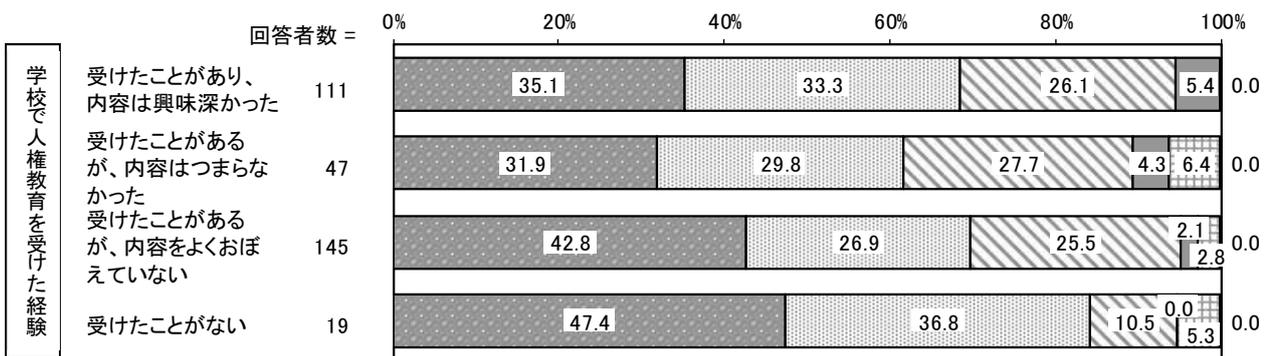
ア 女性ということで、同じ勤務年数の男性よりも給料や昇進で低い評価を受けること



イ 企業の採用や昇進、給与などで、外国人が不利益を受けること

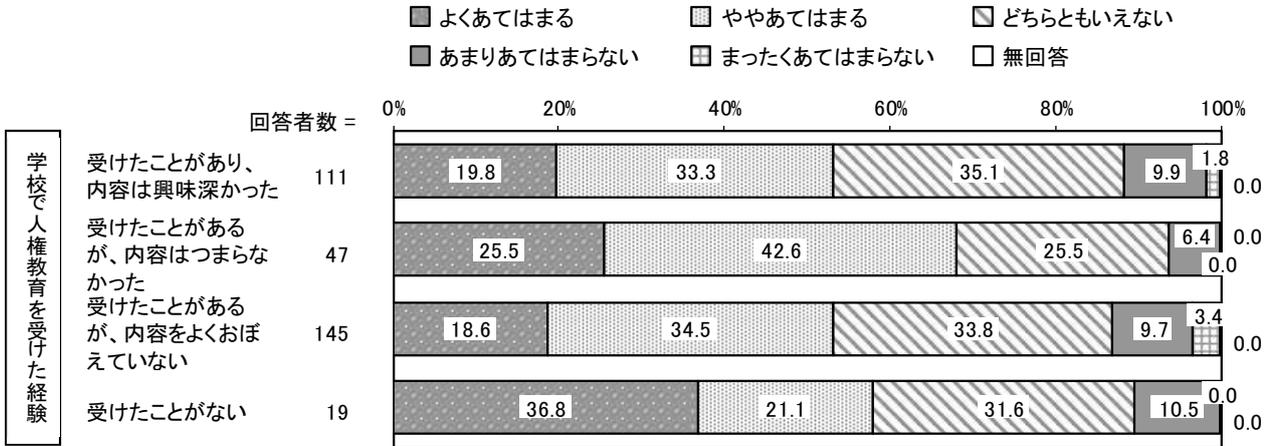


ウ 障がいのある人が結婚したり、子どもを育てることに周囲が反対すること

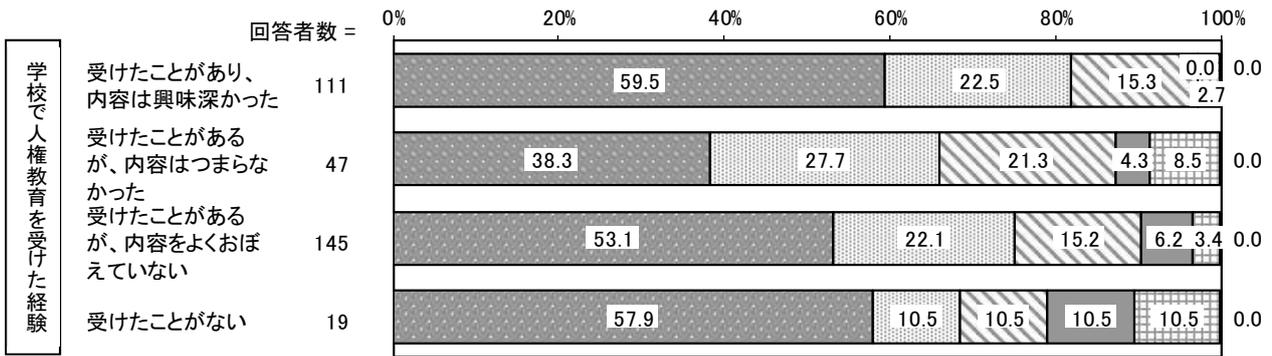


【図2-3 学校で人権教育を受けた経験別人権侵害の認識状況】

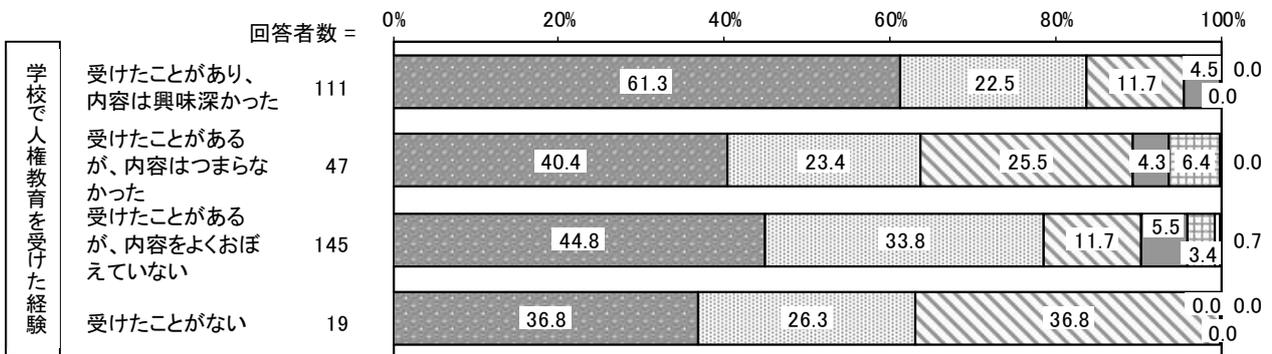
エ 高齢者の就職が困難であったり、労働条件が悪くなること



オ 結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか、身元調査をすること

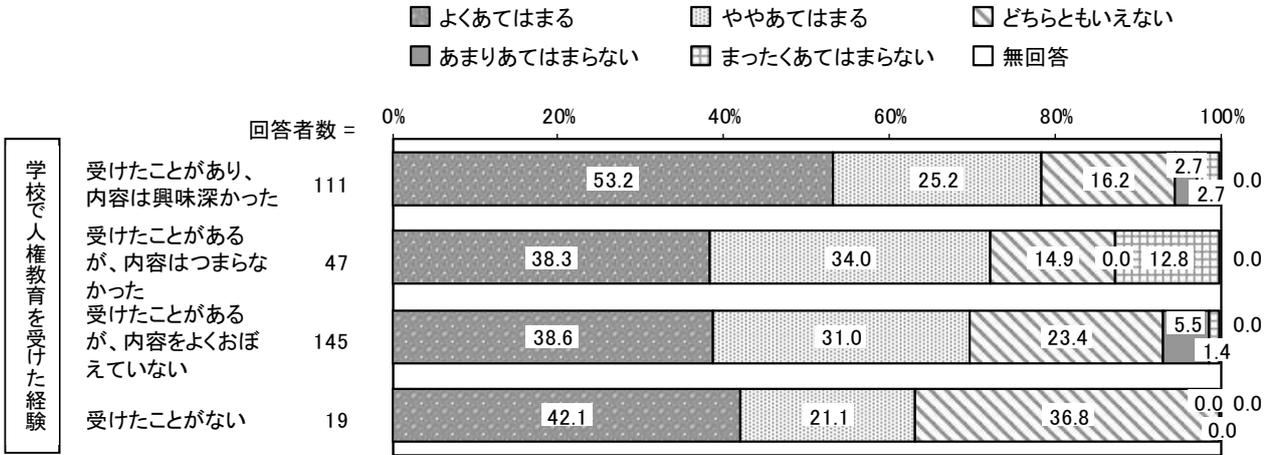


カ 性的な被害を受けた女性に対して、「夜遅くに外出した」、「スキがあった」などと周囲が非難すること

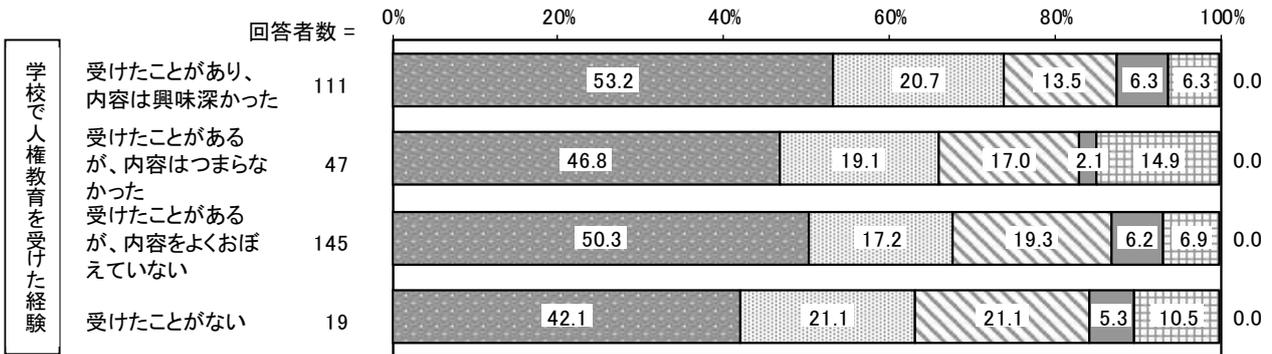


【図2-3 学校で人権教育を受けた経験別人権侵害の認識状況】

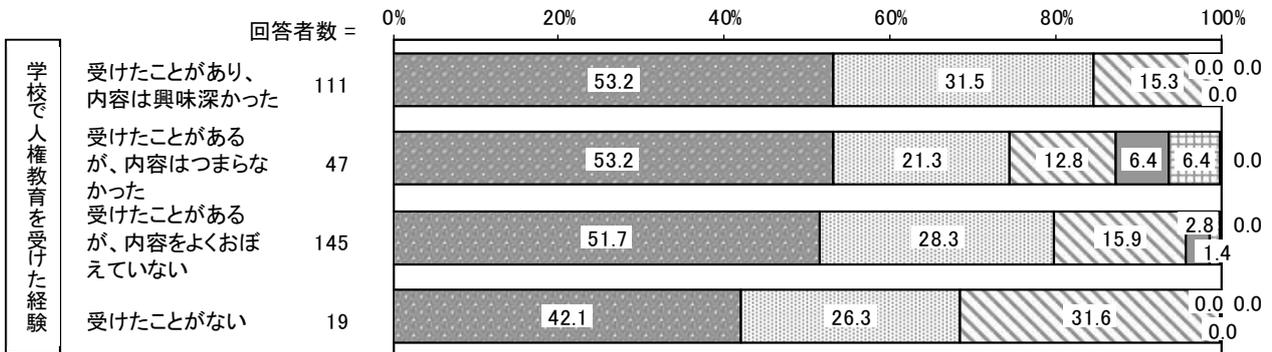
キ HIV（エイズウイルス）感染を理由に、労働者が採用されなかったり解雇されたりすること



ク 犯罪被害者が名前や住所などを報道されること



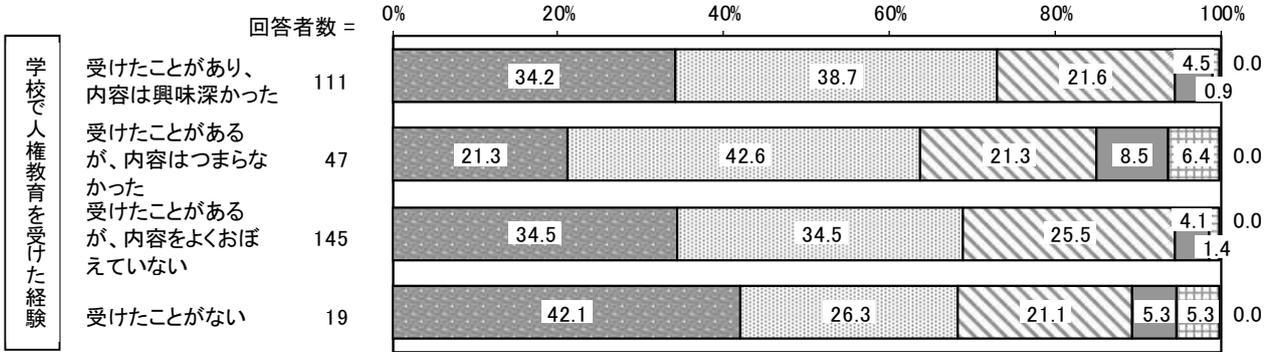
ケ 非嫡出子（法律上の婚姻関係にない男女の間に生まれた子）が結婚に際して不利益を受けること



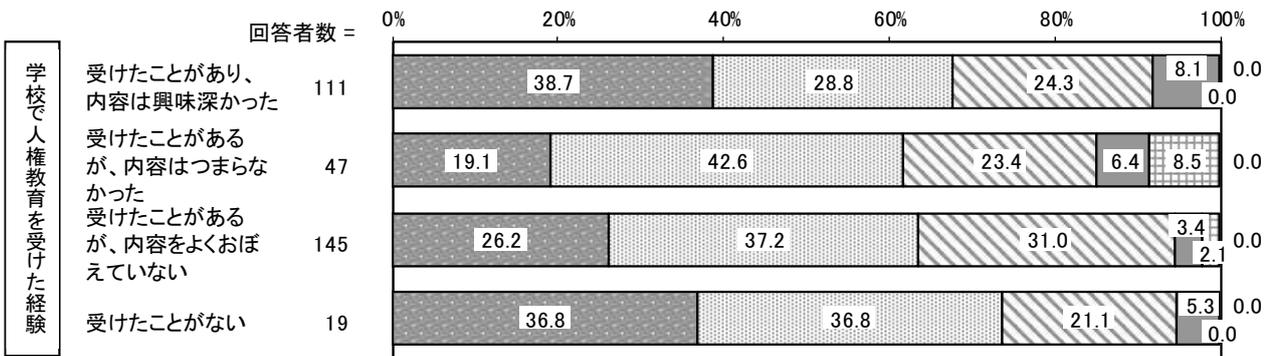
【図2-3 学校で人権教育を受けた経験別人権侵害の認識状況】

コ 知的な障がいのある人や精神に障がいのある人の雇用が進まないこと

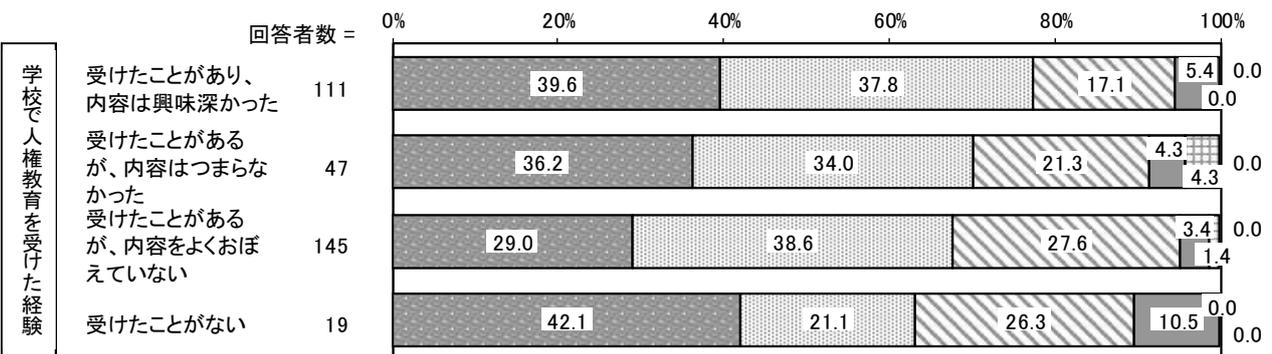
よくあてはまる
  ややあてはまる
  どちらともいえない
   
 あまりあてはまらない
  まったくあてはまらない
  無回答



サ 外国人であることを理由に、賃貸マンションへの入居が拒否されること



シ 災害などの緊急時に日本語に不慣れな外国人への行政の対応がおろそかになること

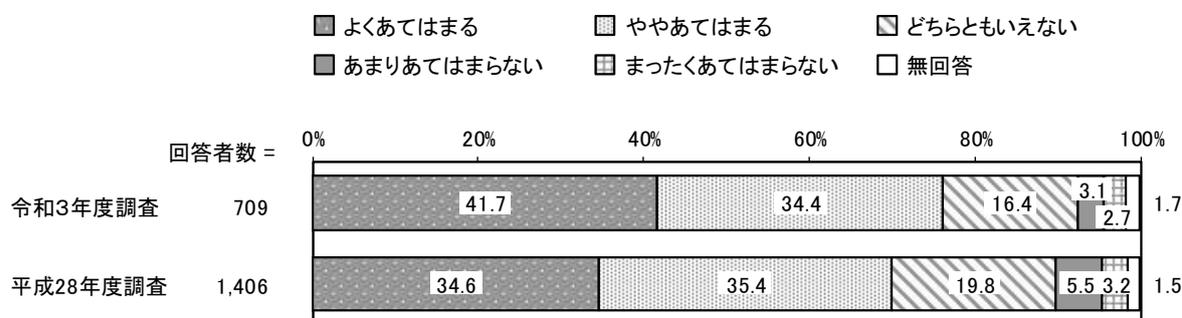


学校での人権教育を受けた経験別でみると、“ウ 障がいのある人が結婚したり、子どもを育てることに周囲が反対すること”“エ 高齢者の就職が困難であったり、労働条件が悪くなること”の項目を除いて、人権教育を受け、興味を持った人ほど『あてはまる』の割合が高くなる傾向がみられます。

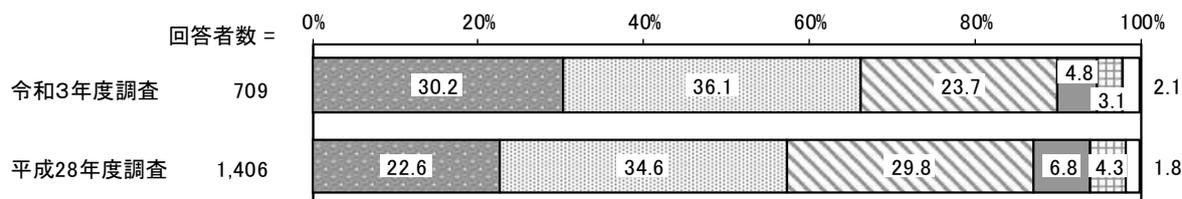
※人権教育の効果については、「受けたことがない」の回答結果を除いて考察しています。理由はp 7に記載しています。

【図2-4 前回調査との比較】

ア 女性ということで、同じ勤務年数の男性よりも給料や昇進で低い評価を受けること



イ 企業の採用や昇進、給与などで、外国人が不利益を受けること

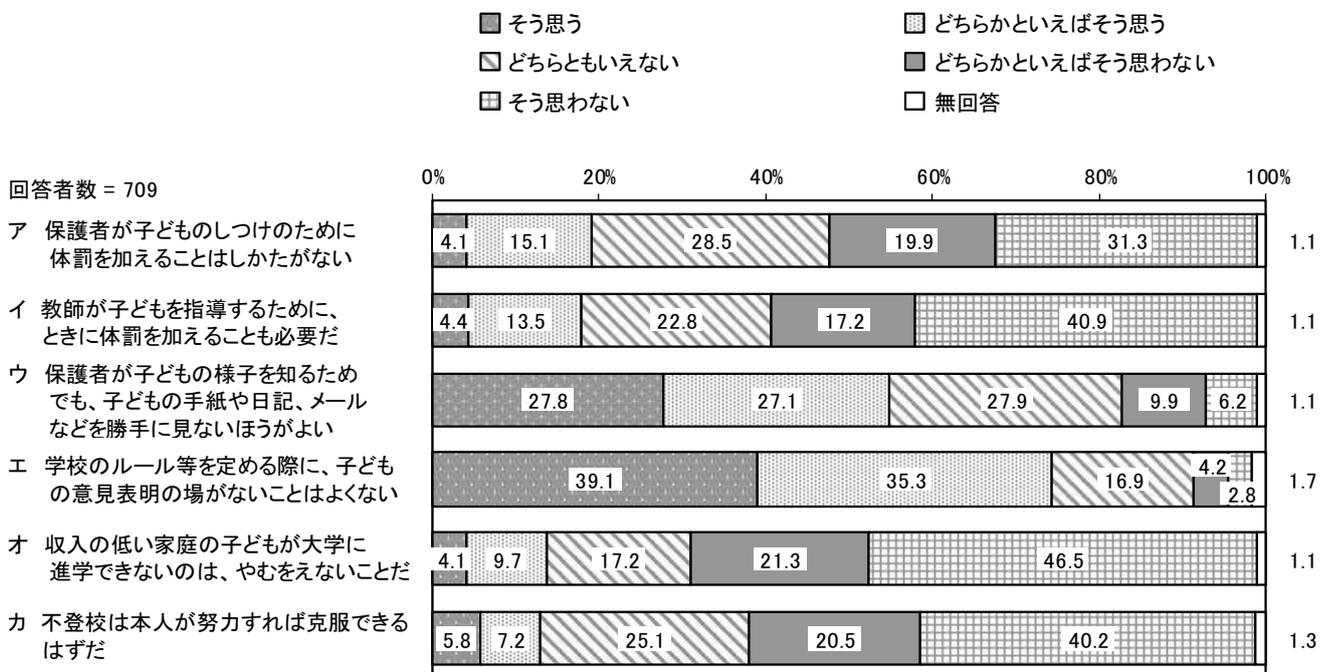


前回調査と比較すると、“ア 女性ということで、同じ勤務年数の男性よりも給料や昇進で低い評価を受けること”“イ 企業の採用や昇進、給与などで、外国人が不利益を受けること”とも『あてはまる』の割合が増加しています。

### 3 子どもの人権に関する意見に対する考えについて [問3]

問3 子どもの人権に関する意見について、あなたはどのように思いますか。  
ア～カのそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つ)

【図3-1 子どもの人権に関する意見に対する考え(全体)】



“オ 収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのは、やむをえないことだ” “カ 不登校は本人が努力すれば克服できるはずだ” の2項目で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた『そう思わない』の割合が6割以上となっています。一方、“ウ 保護者が子どもの様子を知るためでも、子どもの手紙や日記、メールなどを勝手に見ないほうがよい” “エ 学校のルール等を定める際に、子どもの意見表明の場がないことはよくない” では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた『そう思う』の割合が、『そう思わない』を上回っています。

【表3-1 子どもの人権に関する意見に対する考え（性別・年齢別）】

ア 保護者が子どものしつけのために体罰を加えることはしかたがない

イ 教師が子どもを指導するために、ときに体罰を加えることも必要だ

単位：％

区分		回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	無 回答
性別	男性	276	4.3	19.9	27.5	18.8	27.9	1.4
	女性	421	3.8	12.4	29.0	20.2	33.7	1.0
年齢別	18～19歳	60	3.3	3.3	16.7	13.3	63.3	—
	20～29歳	84	6.0	17.9	26.2	11.9	38.1	—
	30～39歳	70	—	15.7	27.1	20.0	37.1	—
	40～49歳	107	1.9	18.7	27.1	18.7	33.6	—
	50～59歳	109	3.7	18.3	29.4	20.2	28.4	—
	60～69歳	147	5.4	14.3	23.1	24.5	32.7	—
	70～79歳	158	5.7	12.0	29.1	19.0	32.3	1.9
	80歳以上	63	3.2	17.5	38.1	12.7	20.6	7.9

区分		回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	無 回答
性別	男性	276	6.2	18.8	24.6	17.8	31.2	1.4
	女性	421	3.1	10.5	22.1	16.6	46.8	1.0
年齢別	18～19歳	60	3.3	5.0	16.7	8.3	66.7	—
	20～29歳	84	6.0	9.5	15.5	13.1	56.0	—
	30～39歳	70	—	10.0	24.3	14.3	51.4	—
	40～49歳	107	2.8	18.7	17.8	21.5	39.3	—
	50～59歳	109	6.4	13.8	28.4	16.5	34.9	—
	60～69歳	147	4.1	14.3	19.7	16.3	45.6	—
	70～79歳	158	5.7	12.0	23.4	19.6	37.3	1.9
	80歳以上	63	4.8	17.5	30.2	14.3	25.4	7.9

ウ 保護者が子どもの様子を知るためにも、子どもの手紙や日記、メールなどを勝手に見ないほうがよい

エ 学校のルール等を定める際に、子どもの意見表明の場がないことはよくない

単位：％

区分		回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	無 回答
性別	男性	276	25.7	28.6	23.9	10.9	9.4	1.4
	女性	421	29.5	25.9	30.6	9.0	4.0	1.0
年齢別	18～19歳	60	36.7	28.3	21.7	6.7	6.7	—
	20～29歳	84	26.2	22.6	33.3	13.1	4.8	—
	30～39歳	70	22.9	28.6	31.4	11.4	5.7	—
	40～49歳	107	21.5	27.1	33.6	9.3	8.4	—
	50～59歳	109	24.8	35.8	23.9	10.1	5.5	—
	60～69歳	147	34.7	25.2	27.9	5.4	6.8	—
	70～79歳	158	31.6	24.1	25.3	12.0	5.1	1.9
	80歳以上	63	28.6	20.6	25.4	12.7	4.8	7.9

区分		回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	無 回答
性別	男性	276	38.4	34.8	16.7	3.6	5.1	1.4
	女性	421	39.2	35.9	16.9	4.8	1.4	1.9
年齢別	18～19歳	60	51.7	30.0	10.0	—	8.3	—
	20～29歳	84	44.0	35.7	15.5	3.6	1.2	—
	30～39歳	70	42.9	35.7	12.9	4.3	4.3	—
	40～49歳	107	38.3	38.3	15.9	4.7	2.8	—
	50～59歳	109	40.4	29.4	23.9	4.6	1.8	—
	60～69歳	147	36.1	37.4	17.7	4.8	3.4	0.7
	70～79歳	158	35.4	36.1	15.8	5.1	3.8	3.8
	80歳以上	63	41.3	36.5	11.1	3.2	—	7.9

【表3-1 子どもの人権に関する意見に対する考え（性別・年齢別）】

オ 収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのは、やむをえないことだ

カ 不登校は本人が努力すれば克服できるはずだ

単位：％

区分		回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	276	4.0	11.2	18.8	19.2	45.3	1.4
	女性	421	4.3	8.8	15.9	22.6	47.5	1.0
年齢別	18～19歳	60	8.3	8.3	13.3	21.7	48.3	—
	20～29歳	84	2.4	7.1	20.2	22.6	47.6	—
	30～39歳	70	2.9	8.6	20.0	20.0	48.6	—
	40～49歳	107	3.7	7.5	16.8	25.2	46.7	—
	50～59歳	109	0.9	7.3	12.8	18.3	60.6	—
	60～69歳	147	3.4	9.5	16.3	22.4	48.3	—
	70～79歳	158	7.0	13.9	18.4	17.7	40.5	2.5
	80歳以上	63	4.8	12.7	15.9	22.2	38.1	6.3

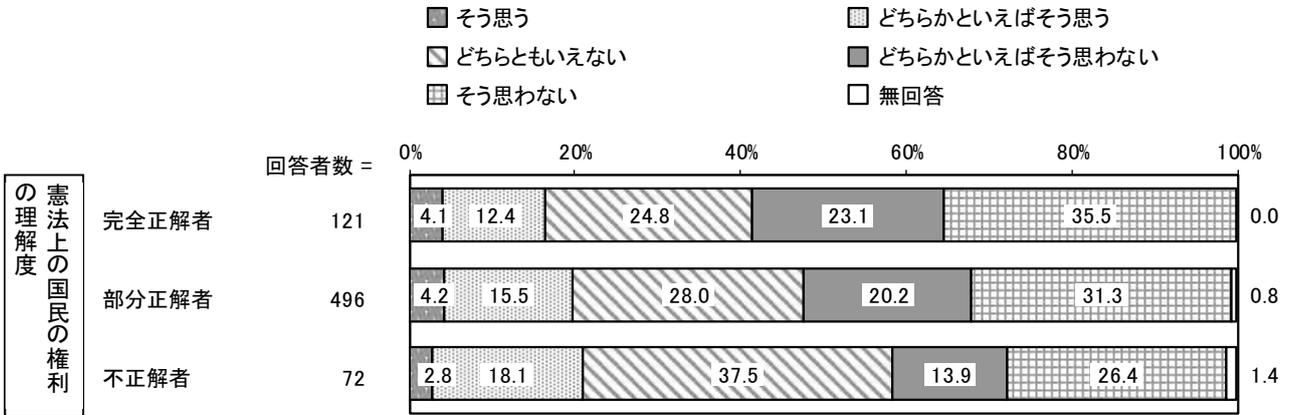
区分		回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
		276	5.8	9.1	29.7	19.9	34.1	1.4
		421	5.9	5.9	22.3	20.9	43.7	1.2
		60	1.7	8.3	26.7	21.7	41.7	—
		84	6.0	2.4	26.2	17.9	47.6	—
		70	2.9	1.4	24.3	28.6	42.9	—
		107	1.9	3.7	28.0	25.2	40.2	0.9
		109	2.8	3.7	16.5	16.5	60.6	—
		147	4.8	6.8	24.5	22.4	41.5	—
		158	8.2	10.8	29.7	16.5	32.3	2.5
		63	19.0	19.0	22.2	11.1	22.2	6.3

性別でみると“ウ 保護者が子どもの様子を知るためでも、子どもの手紙や日記、メールなどを勝手に見ないほうがよい”“エ 学校のルール等を定める際に、子どもの意見表明の場がないことはよくない”の項目を除いて、男性に比べ、女性で『そう思わない』の割合が高くなっています。また、“エ 学校のルール等を定める際に、子どもの意見表明の場がないことはよくない”の項目においては、男性、女性ともに『そう思う』の割合が高くなっています。

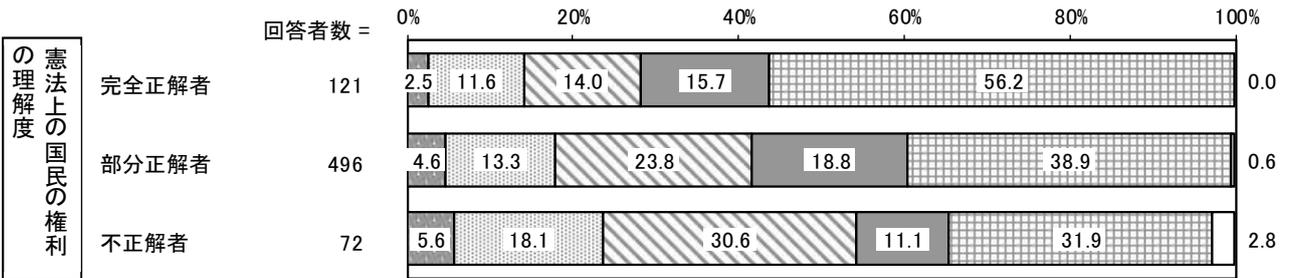
年齢別でみると、“ア 保護者が子どものしつけのために体罰を加えることはしかたがない”“イ 教師が子どもを指導するために、ときに体罰を加えることも必要だ”の項目において『そう思わない』の割合が18～19歳で高くなっています。また、“オ 収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのは、やむをえないことだ”“カ 不登校は本人が努力すれば克服できるはずだ”の項目において『そう思わない』の割合が50～59歳で高くなっています。

【図3-2 憲法上の国民の権利の理解度別子どもの人権に関する意見に対する考え】

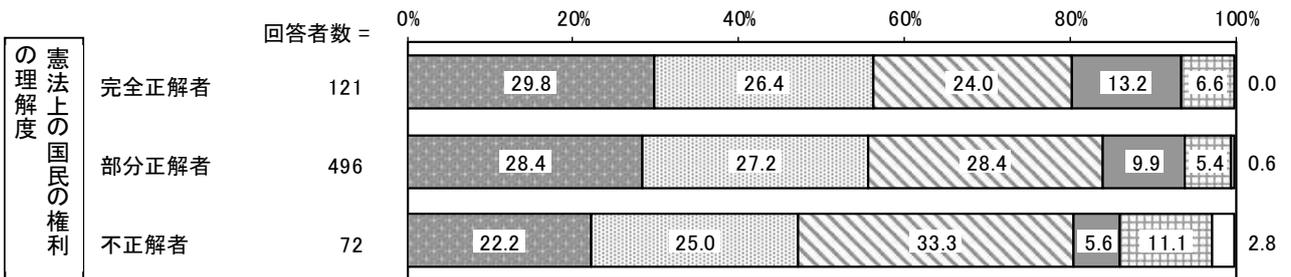
ア 保護者が子どものしつけのために体罰を加えることはしかたがない



イ 教師が子どもを指導するために、ときに体罰を加えることも必要だ

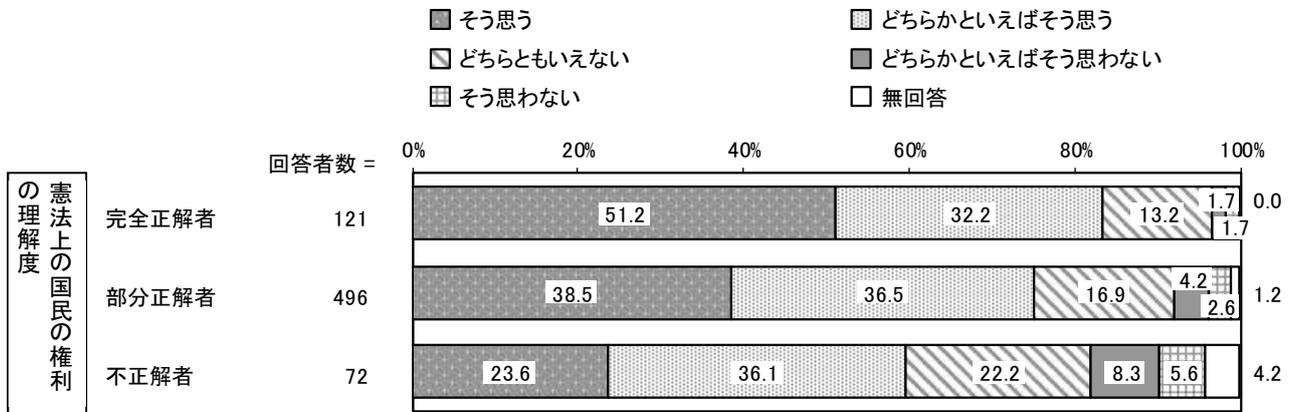


ウ 保護者が子どもの様子を知るためでも、子どもの手紙や日記、メールなどを勝手に見ないほうがよい

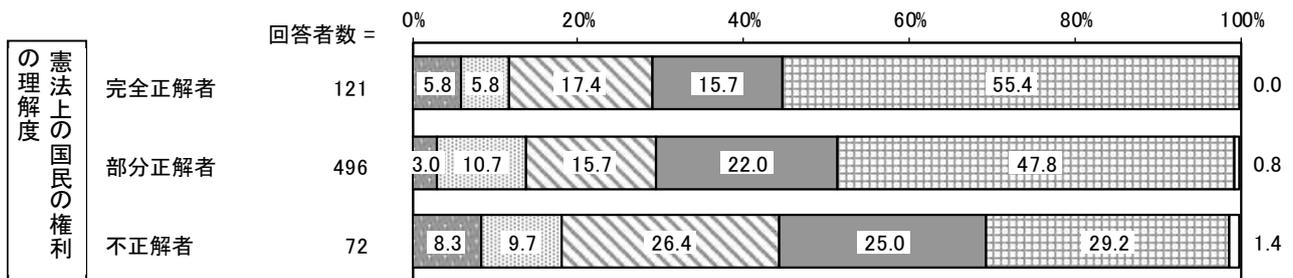


【図3-2 憲法上の国民の権利の理解度別子どもの人権に関する意見に対する考え】

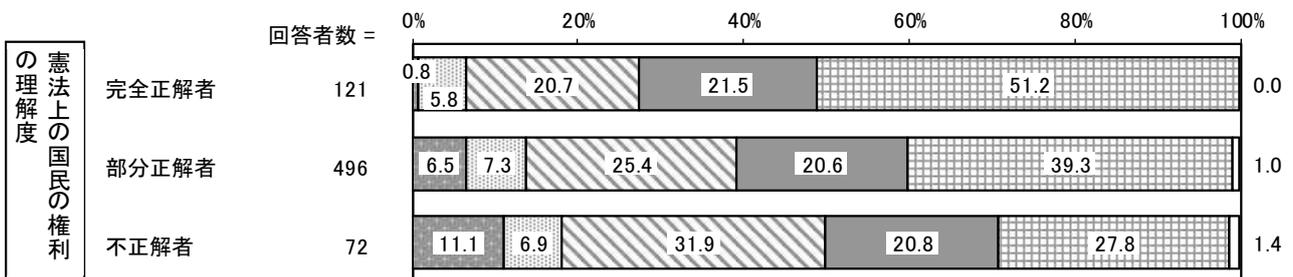
エ 学校のルール等を定める際に、子どもの意見表明の場がないことはよくない



オ 収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのは、やむをえないことだ



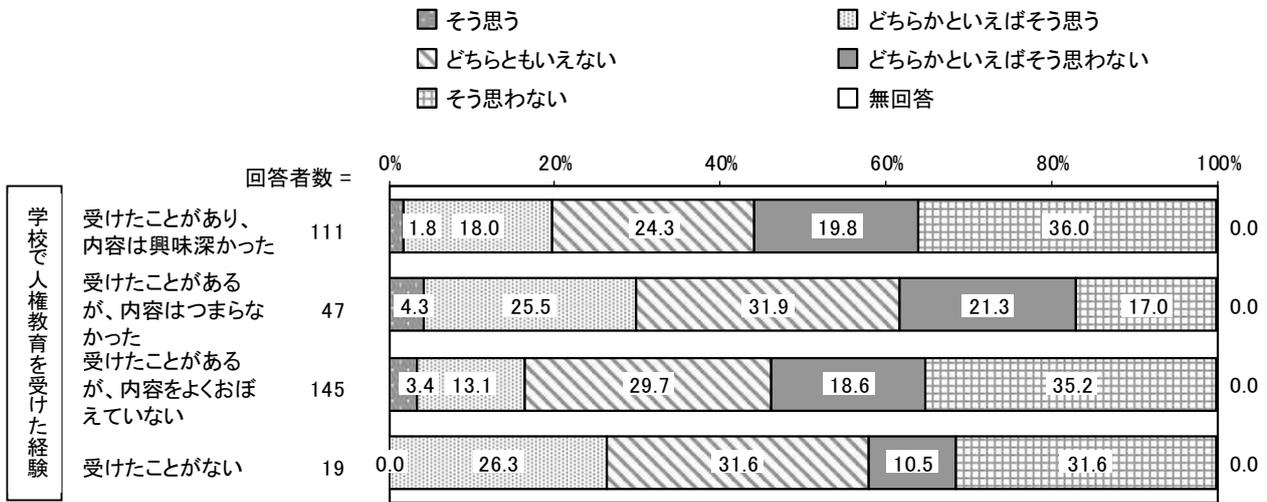
カ 不登校は本人が努力すれば克服できるはずだ



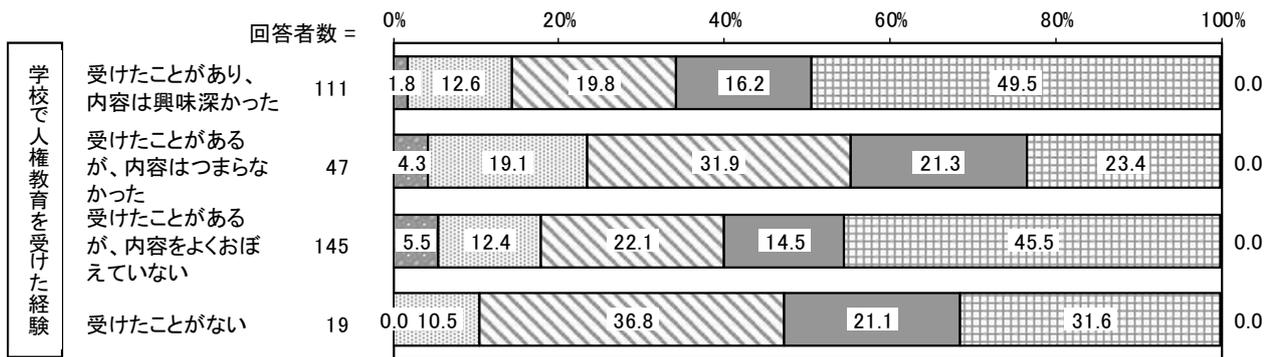
憲法上の国民の権利の理解度別でみると、“ウ 保護者が子どもの様子を知るためでも、子どもの手紙や日記、メールなどを勝手に見ないほうがよい”“エ 学校のルール等を定める際に、子どもの意見表明の場がないことはよくない”の項目を除いて、国民の権利の理解度が高い人ほど『そう思わない』の割合が高くなる傾向がみられます。

【図3-3 学校で人権教育を受けた経験別子どもの人権に関する意見に対する考え】

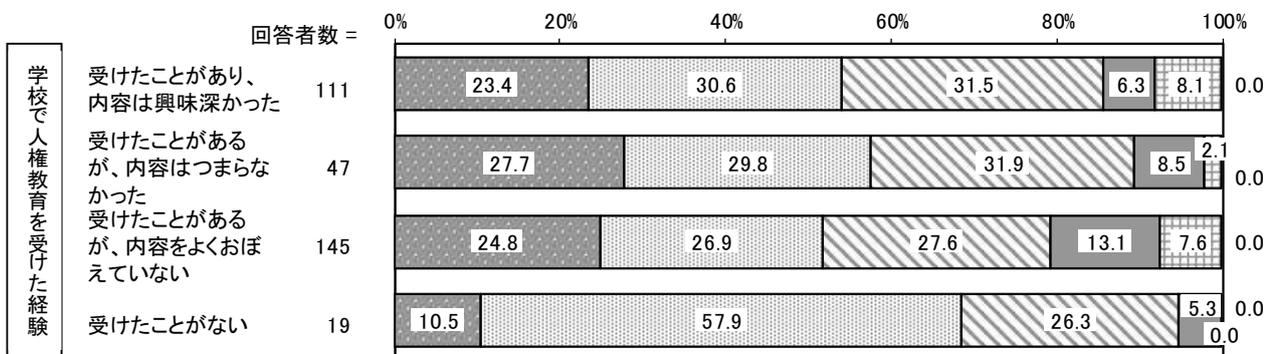
ア 保護者が子どものしつけのために体罰を加えることはしかたがない



イ 教師が子どもを指導するために、ときに体罰を加えることも必要だ

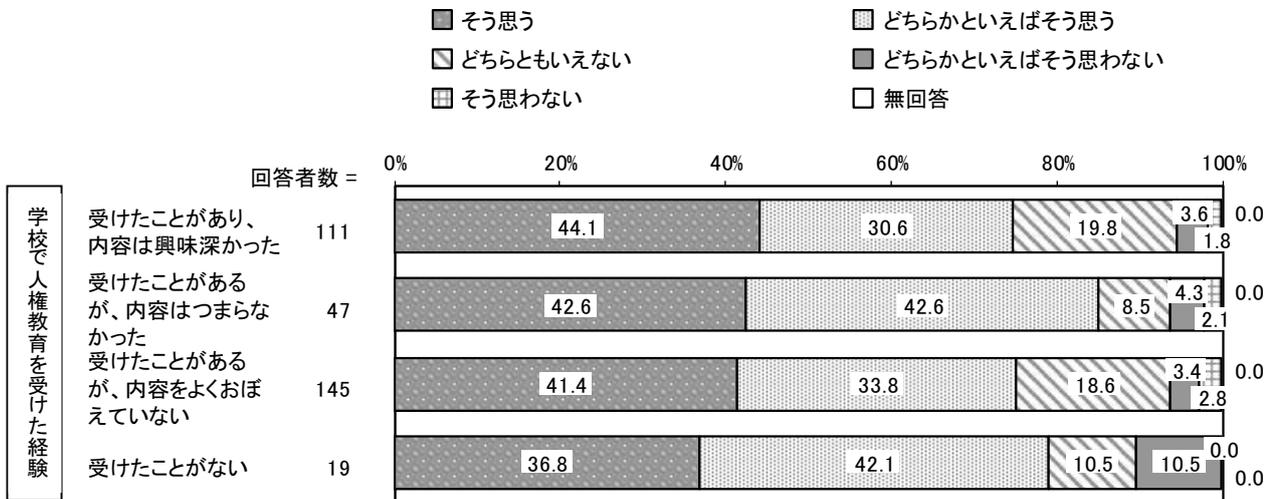


ウ 保護者が子どもの様子を知るためでも、子どもの手紙や日記、メールなどを勝手に見ないほうがよい

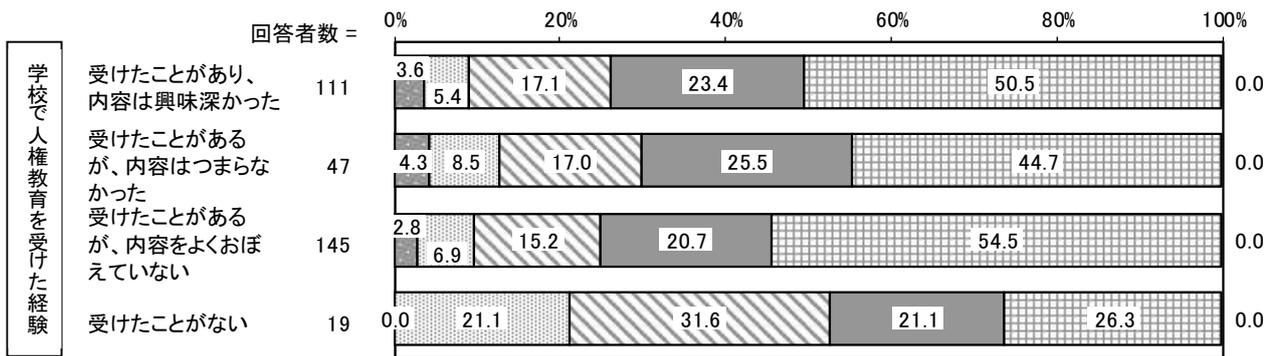


【図3-3 学校で人権教育を受けた経験別子どもの人権に関する意見に対する考え】

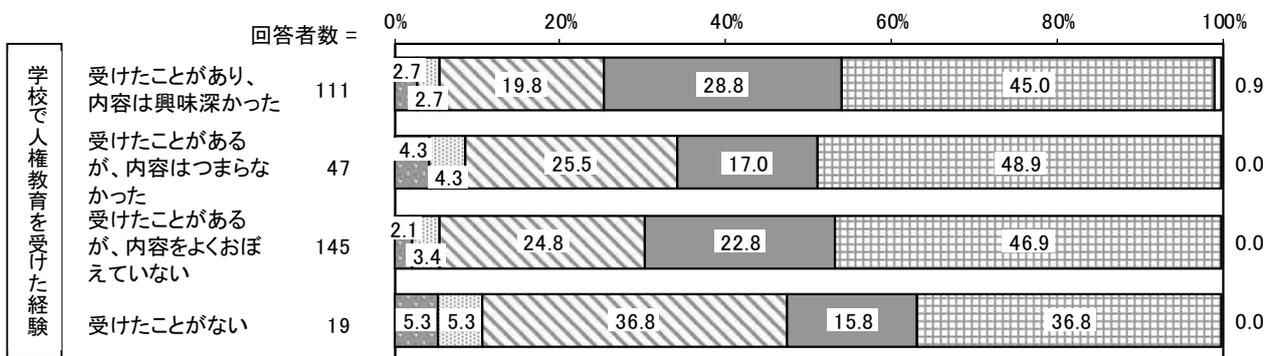
エ 学校のルール等を定める際に、子どもの意見表明の場がないことはよくない



オ 収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのは、やむをえないことだ



カ 不登校は本人が努力すれば克服できるはずだ

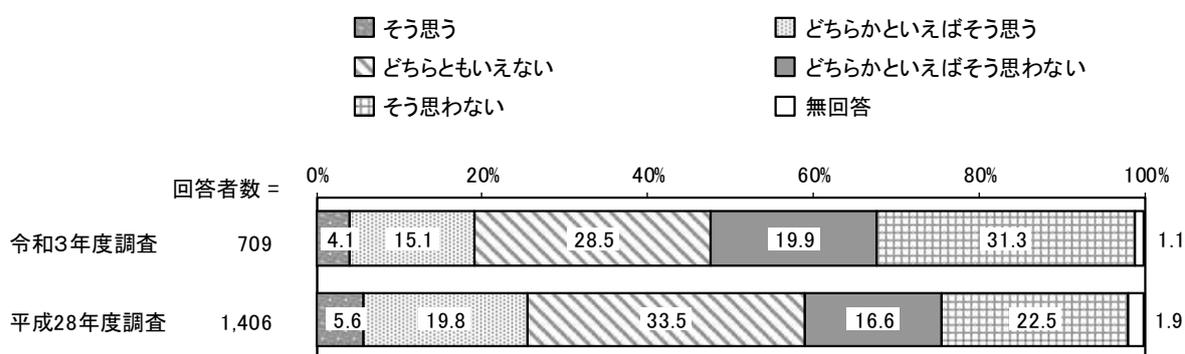


学校で人権教育を受けた経験別でみると、“ア 保護者が子どものしつけのために体罰を加えることはしかたがない” “イ 教師が子どもを指導するために、ときに体罰を加えることも必要だ” の項目において、「受けたことがあり、内容は興味深かった」「受けたことがあるが、内容をよくおぼえていない」で『そう思わない』の割合が高くなっています。

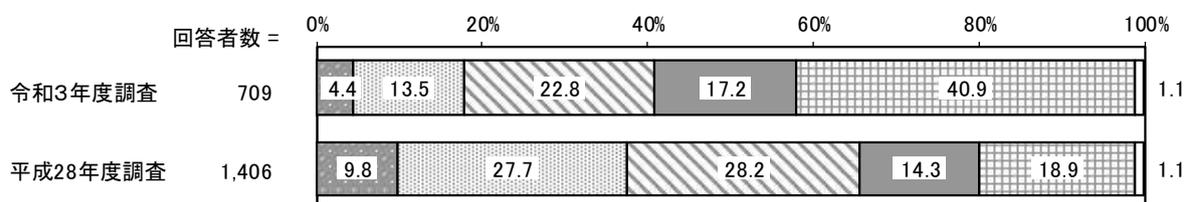
※人権教育の効果については、「受けたことがない」の回答結果を除いて考察しています。理由はp 7に記載しています。

【図3-4 前回調査との比較】

ア 保護者が子どものしつけのために体罰を加えることはしかたがない



イ 教師が子どもを指導するために、ときに体罰を加えることも必要だ



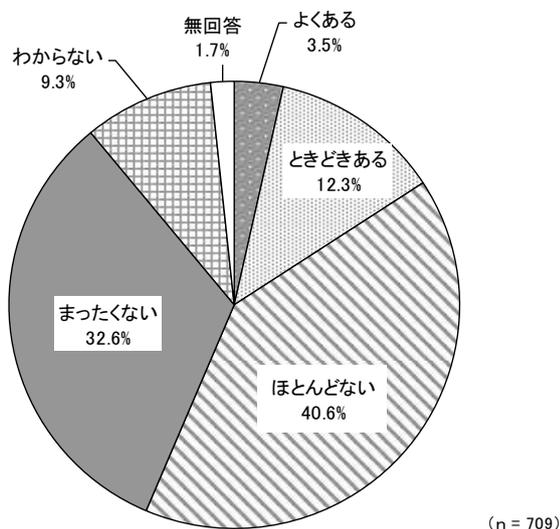
前回調査と比較すると、“ア 保護者が子どものしつけのために体罰を加えることはしかたがない” “イ 教師が子どもを指導するために、ときに体罰を加えることも必要だ” とともに『そう思う』が減少し、『そう思わない』の割合が増加しています。そして、この傾向は“イ 教師が子どもを指導するために、ときに体罰を加えることも必要だ” のほうが顕著となっています。

## 4 人権侵害の経験について

### (1) ここ5年間ぐらいに人権を侵害されたと思った経験の有無 [問4]

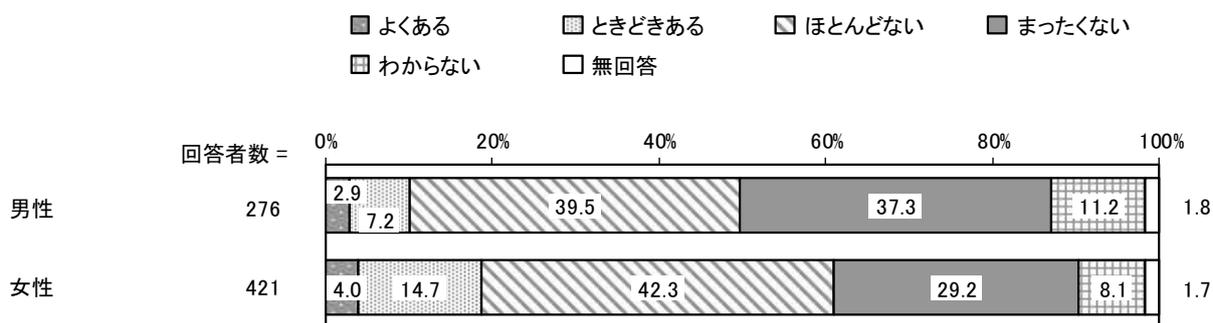
問4 あなたは、ここ5年ぐらいの間に自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(〇は1つ)

【図4-1 ここ5年間ぐらいに人権を侵害されたと思った経験 (全体)】



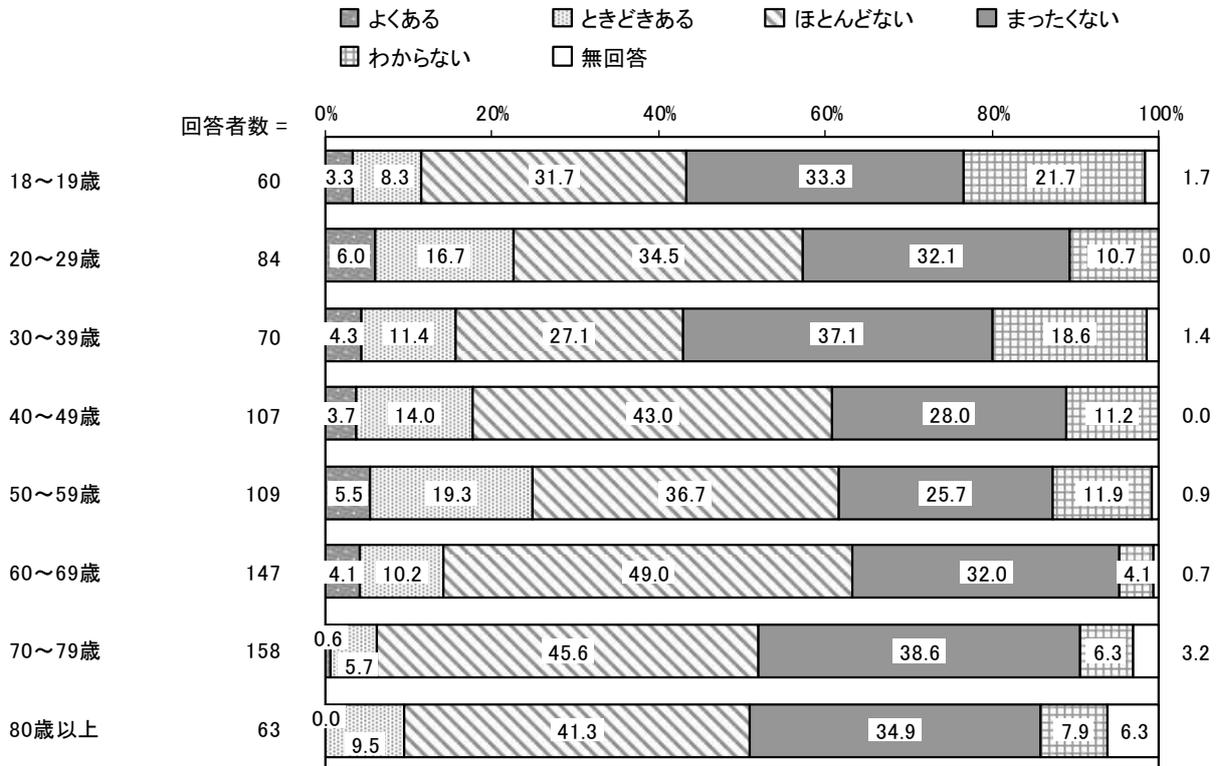
「よくある」と「ときどきある」を合わせた『ある』の割合が15.8%、「ほとんどない」と「まったくない」を合わせた『ない』の割合が73.2%、「わからない」の割合が9.3%となっています。

【図4-2 ここ5年間ぐらいに人権を侵害されたと思った経験 (性別)】



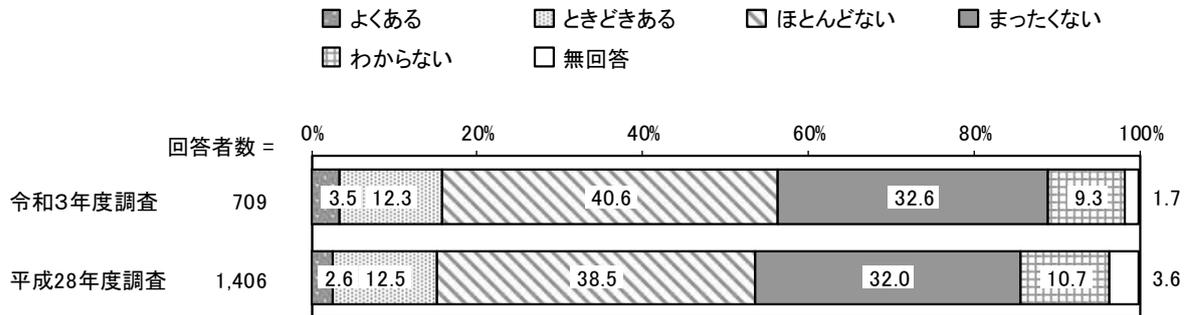
性別でみると、『ある』の割合は、男性よりも女性が8.6ポイント高くなっています。

【図4-3 ここ5年間ぐらいに人権を侵害されたと思った経験（年齢別）】



年齢別でみると、『ある』の割合は、20～29歳、50～59歳で高くなっています。一方、『ない』の割合は、70～79歳で高く、8割半ばとなっています。

【図4-4 前回調査との比較】



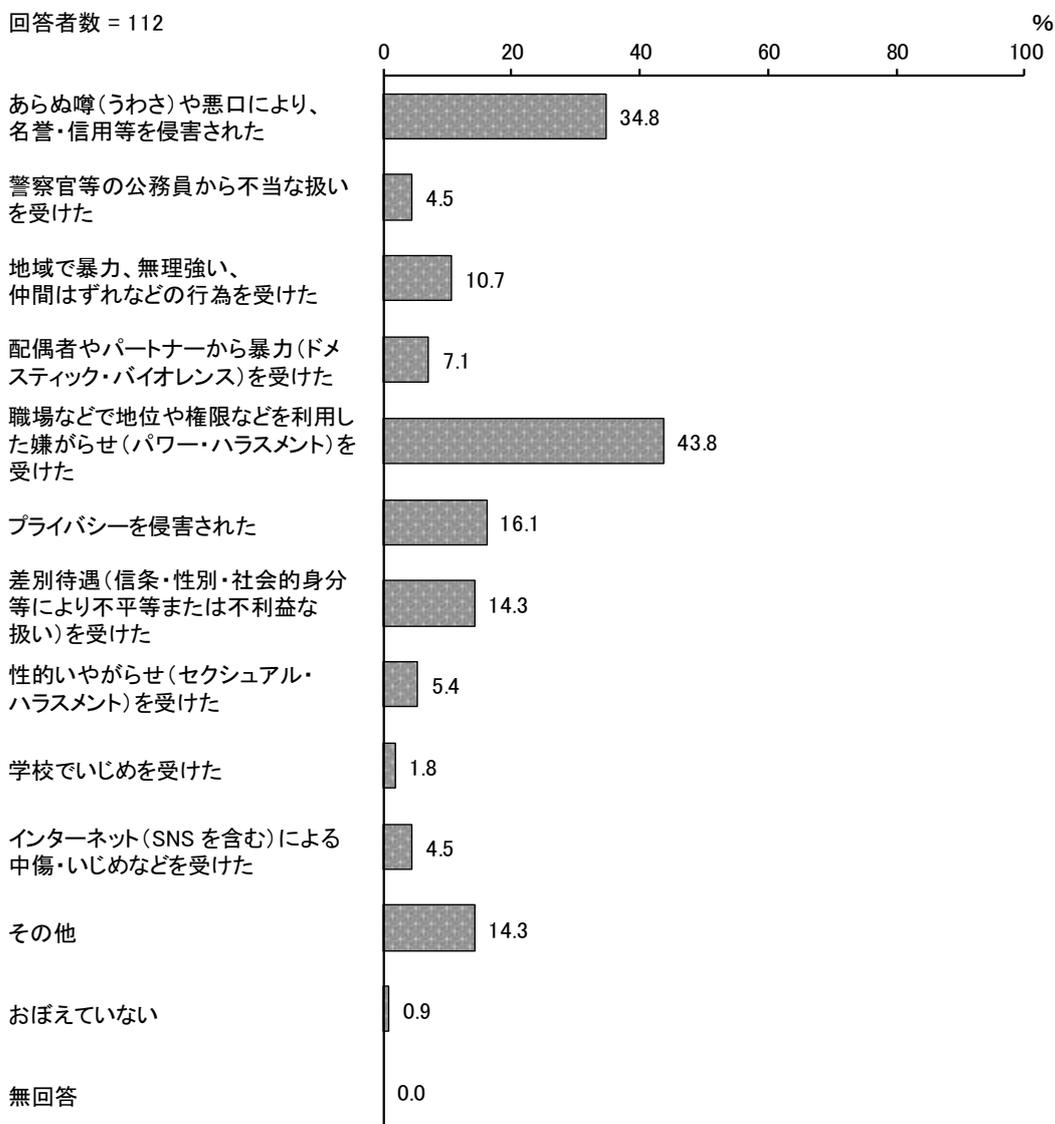
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

## (2) 受けた人権侵害 [問4-1]

問4-1～問4-2は、問4で「1」、「2」を選んだ人にお聞きします。

問4-1 それはどのような人権侵害でしたか。(〇はいくつでも)

【図4-5 受けた人権侵害 (全体)】



「職場などで地位や権限などを利用した嫌がらせ(パワー・ハラスメント)を受けた」の割合が43.8%と最も高く、次いで「あらぬ噂(うわさ)や悪口により、名誉・信用等を侵害された」の割合が34.8%、「プライバシーを侵害された」の割合が16.1%となっています。

【表4-1 受けた人権侵害（性別・年齢別）】

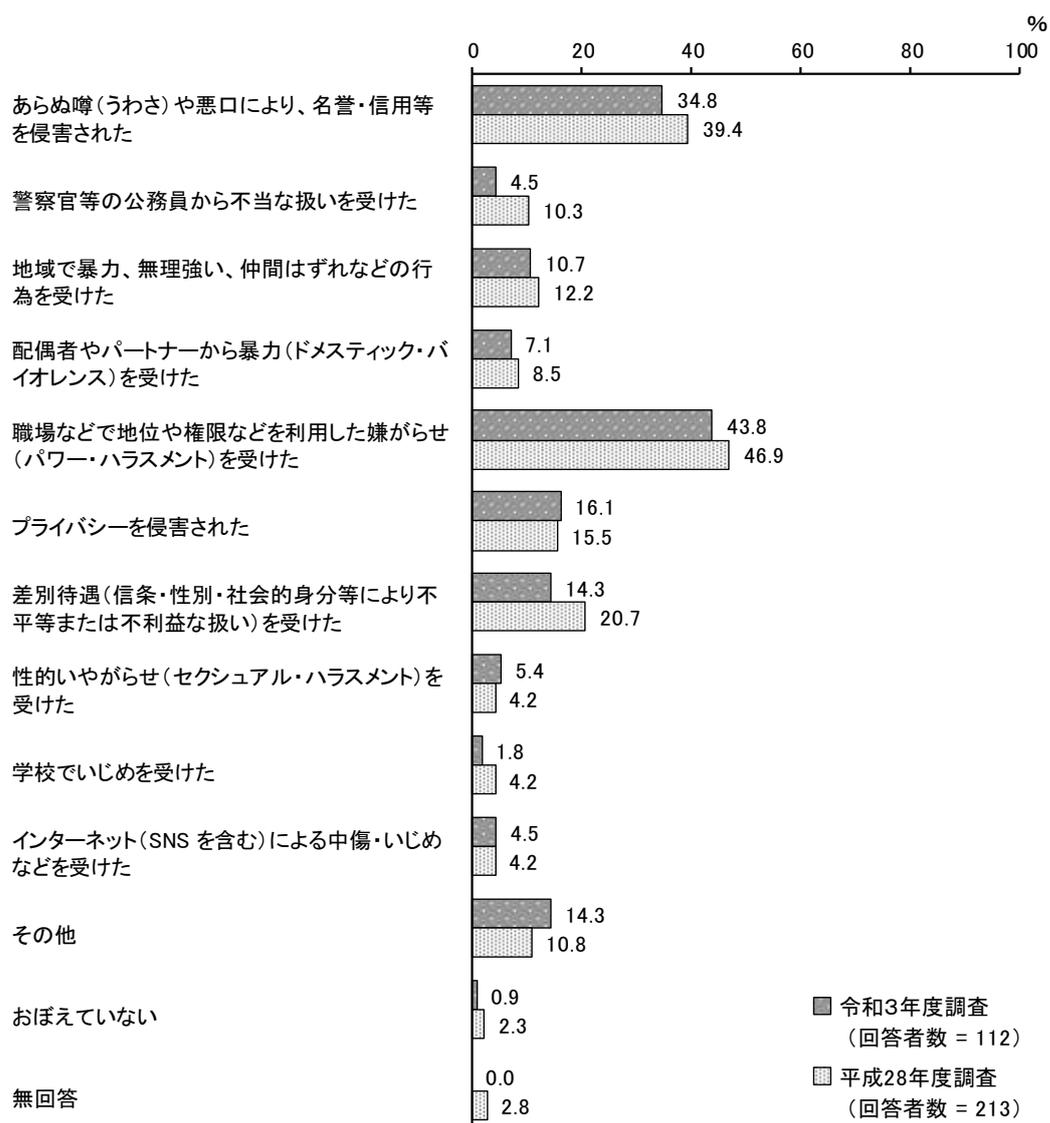
単位：％

区分		回答者数(件)	あらぬ噂(うわさ)や悪口により、名誉・信用等を侵害された	警察官等の公務員から不当な扱いを受けた	地域で暴力、無理強い、仲間はずれなどの行為を受けた	配偶者やパートナーから暴力(ドメスティック・バイオレンス)を受けた	職場などで地位や権限などを利用した嫌がらせ(パワー・ハラスメント)を受けた	プライバシーを侵害された	差別待遇(信条・性別・社会的身分等により不平等または不利益な扱い)を受けた	性的いやがらせ(セクシュアル・ハラスメント)を受けた	学校でいじめを受けた	インターネット(SNSを含む)による中傷・いじめなどを受けた	その他	おぼえていない	無回答
性別	男性	28	35.7	3.6	10.7	—	53.6	14.3	14.3	—	3.6	7.1	10.7	—	—
	女性	79	35.4	5.1	11.4	10.1	39.2	16.5	15.2	7.6	1.3	3.8	16.5	—	—
年齢別	18～19歳	7	28.6	14.3	14.3	14.3	—	42.9	42.9	—	42.9	—	—	—	—
	20～29歳	19	36.8	5.3	10.5	5.3	52.6	15.8	5.3	10.5	—	5.3	15.8	—	—
	30～39歳	11	18.2	9.1	—	9.1	45.5	18.2	9.1	—	—	9.1	27.3	—	—
	40～49歳	19	26.3	—	—	—	52.6	15.8	10.5	10.5	—	5.3	10.5	—	—
	50～59歳	27	40.7	—	11.1	14.8	59.3	11.1	14.8	—	—	3.7	7.4	—	—
	60～69歳	21	38.1	4.8	14.3	4.8	38.1	9.5	14.3	9.5	—	4.8	23.8	—	—
	70～79歳	10	50.0	—	30.0	—	10.0	20.0	20.0	—	20.0	—	10.0	—	—
	80歳以上	6	50.0	16.7	16.7	—	16.7	33.3	33.3	16.7	—	—	33.3	—	—

性別で見ると、男性、女性ともに「職場などで地位や権限などを利用した嫌がらせ（パワー・ハラスメント）を受けた」の割合が最も高く、特に男性で5割を超えています。また、「配偶者やパートナーから暴力（ドメスティック・バイオレンス）を受けた」「性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた」については、男性からの回答者はありませんでした。

年齢別で見ると、20歳から69歳までの年齢層で、「職場などで地位や権限などを利用した嫌がらせ（パワー・ハラスメント）を受けた」の割合が高くなっています。

【図4-6 前回調査との比較】

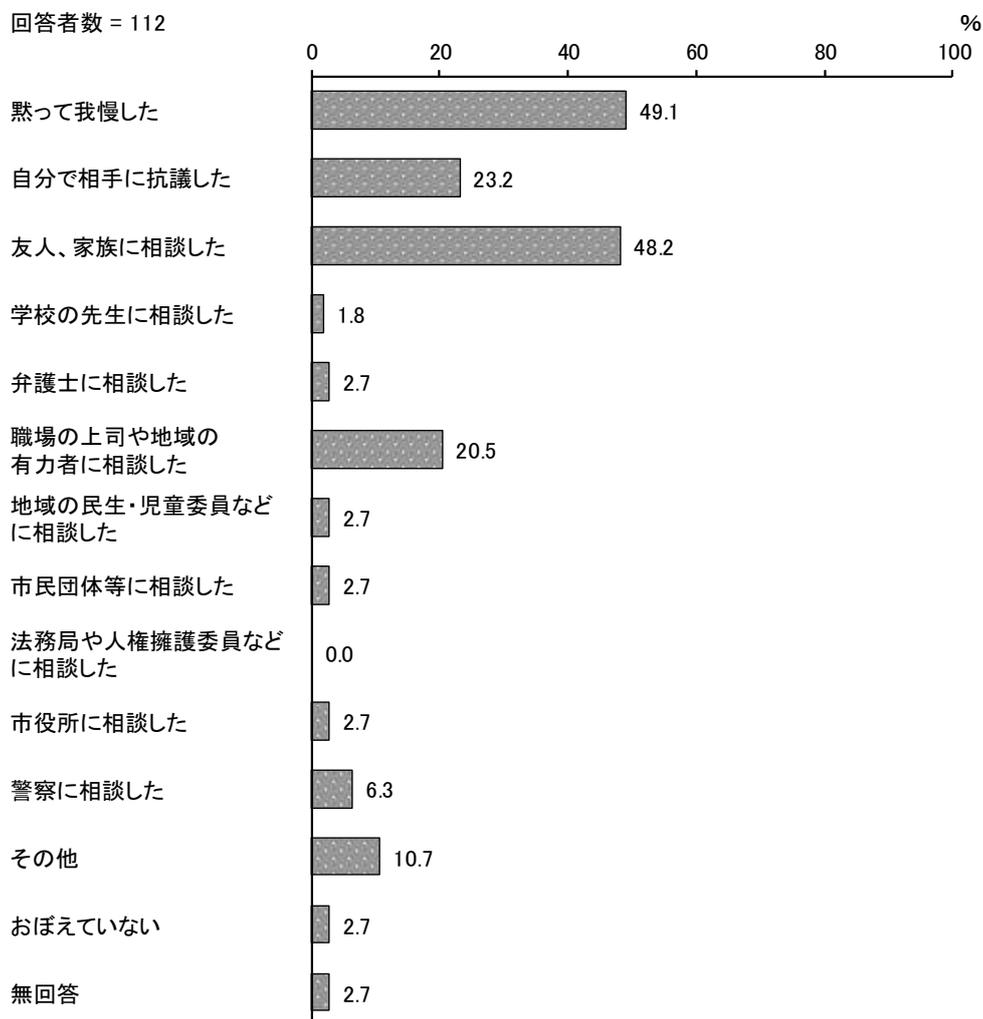


前回調査と比較すると、「警察官等の公務員から不当な扱いを受けた」「差別待遇(信条・性別・社会的身分等により不平等または不利益な扱い)を受けた」の割合が減少しています。

### (3) 人権侵害を受けたときの対応 [問4-2]

問4-2 人権侵害を受けたとき、どうされましたか。(〇はいくつでも)

【図4-7 人権侵害を受けたときの対応 (全体)】



「黙って我慢した」の割合が 49.1%と最も高く、次いで「友人、家族に相談した」の割合が 48.2%、「自分で相手に抗議した」の割合が 23.2%となっています。また、「法務局や人権擁護委員などに相談した」と回答した人はなく、「市役所に相談した」の割合は 2.7%、「警察に相談した」の割合は 6.3%と、公的な機関への相談が少ない傾向があります。

【表 4-2 人権侵害を受けたときの対応（性別・年齢別）】

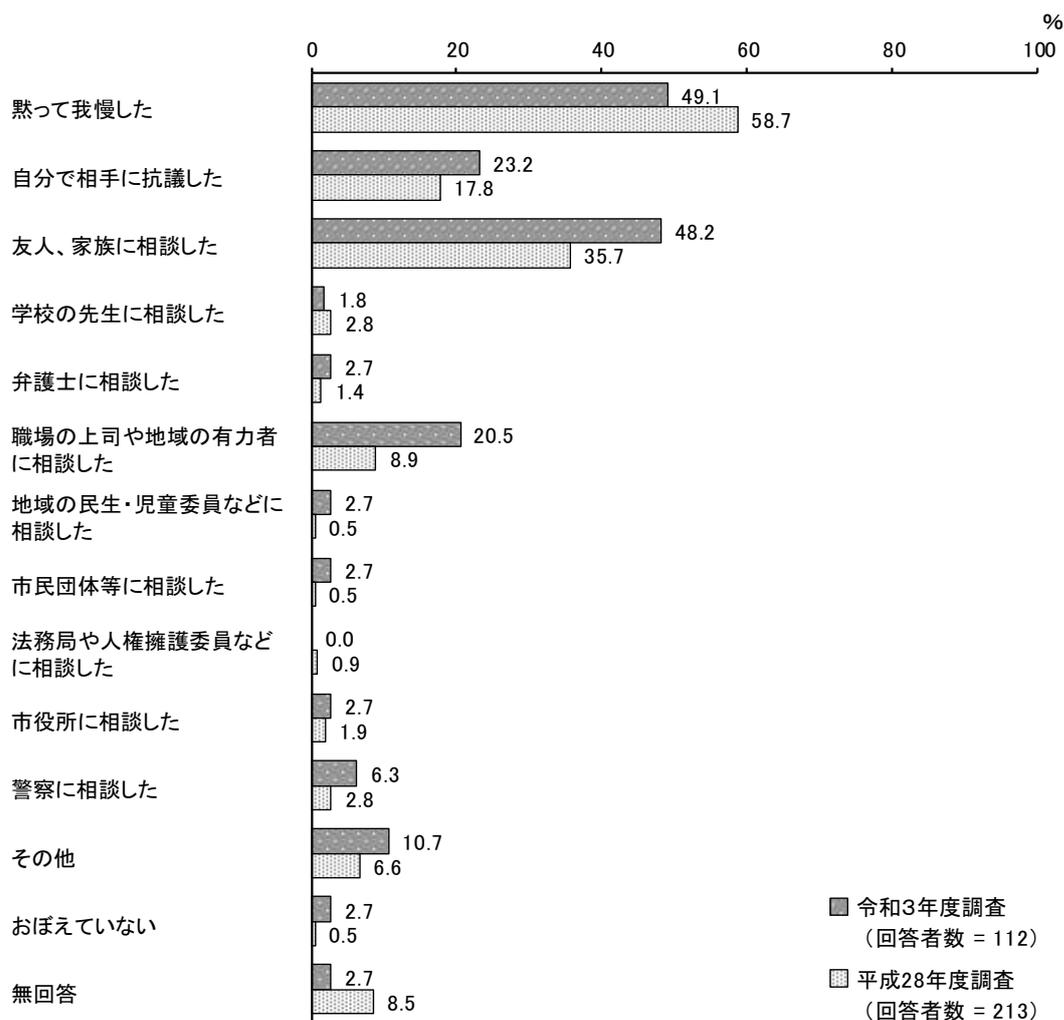
単位：%

区分		回答者数（件）	黙って我慢した	自分で相手に抗議した	友人、家族に相談した	学校の先生に相談した	弁護士に相談した	職場の上司や地域の有力者に相談した	地域の民生・児童委員などに相談した	市民団体等に相談した	法務局や人権擁護委員などに相談した	市役所に相談した	警察に相談した	その他	おぼえていない	無回答
性別	男性	28	57.1	28.6	35.7	—	—	14.3	—	—	—	—	3.6	14.3	—	3.6
	女性	79	46.8	21.5	53.2	2.5	3.8	22.8	3.8	3.8	—	3.8	7.6	10.1	2.5	2.5
年齢別	18～19歳	7	57.1	—	57.1	28.6	—	—	—	—	—	—	14.3	14.3	—	—
	20～29歳	19	42.1	26.3	57.9	—	—	31.6	5.3	—	—	5.3	10.5	10.5	—	—
	30～39歳	11	54.5	36.4	63.6	—	—	36.4	—	9.1	—	9.1	9.1	—	—	—
	40～49歳	19	26.3	26.3	47.4	—	5.3	26.3	—	—	—	—	5.3	5.3	—	5.3
	50～59歳	27	59.3	22.2	44.4	3.7	7.4	25.9	3.7	3.7	—	—	3.7	14.8	3.7	3.7
	60～69歳	21	52.4	19.0	47.6	—	—	14.3	—	—	—	—	9.5	14.3	4.8	4.8
	70～79歳	10	50.0	30.0	30.0	—	—	—	—	—	—	—	—	20.0	—	—
	80歳以上	6	66.7	—	33.3	—	—	—	16.7	16.7	—	16.7	—	16.7	—	—

性別でみると、女性に比べ、男性で「黙って我慢した」の割合が高く、6割近くとなっています。また、男性に比べ、女性で「友人、家族に相談した」の割合が高く、5割を超えています。

年齢別でみると、他に比べ、30～39歳で「友人、家族に相談した」の割合が高く、6割を超えています。

【図4-8 前回調査との比較】

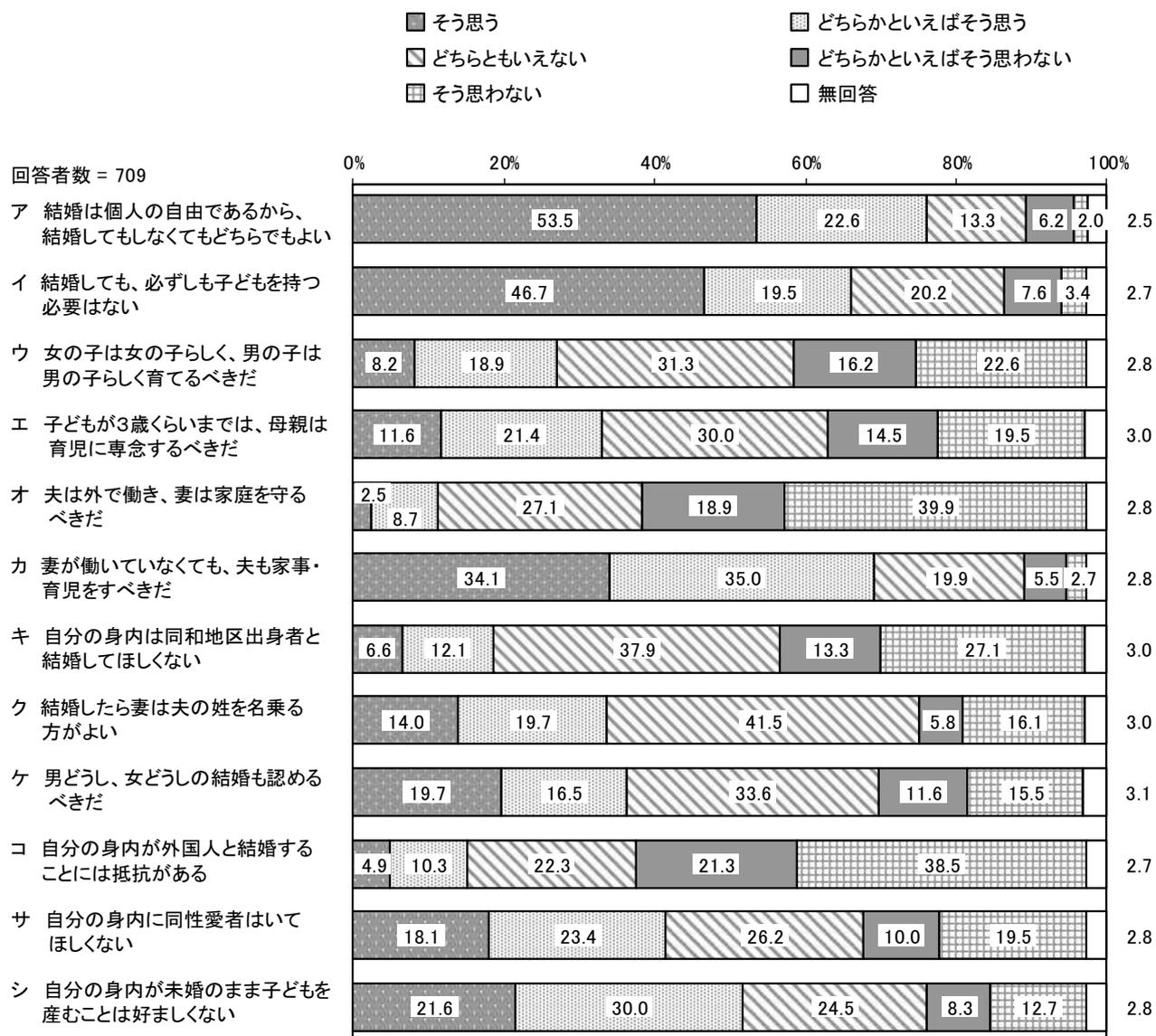


前回調査と比較すると、「自分で相手に抗議した」「友人、家族に相談した」「職場の上司や地域の有力者に相談した」の割合が増加しています。一方、「黙って我慢した」の割合が減少しています。

## 5 家族に関わるいろいろな見方や考え方について [問5]

問5 次のような家族に関わるいろいろな見方や考え方について、あなたはどのように思いますか。ア～シのそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つ)

【図5-1 家族に関わるいろいろな見方や考え方(全体)】



“ア 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい”で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた『そう思う』の割合が7割半ばとなっています。一方、“オ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ”“コ 自分の身内が外国人と結婚することには抵抗がある”で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた『そう思わない』の割合がいずれも約6割となって『そう思う』の割合を大きく超えています。

【表5-1 家族に関わるいろいろな見方や考え方（性別・年齢別）】

ア 結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい

イ 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない

単位：％

区分		回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	無 回答
性別	男性	276	48.6	21.7	17.4	8.0	1.8	2.5
	女性	421	57.0	23.0	10.7	5.0	1.9	2.4
年齢別	18～19歳	60	85.0	11.7	3.3	—	—	—
	20～29歳	84	76.2	16.7	4.8	1.2	1.2	—
	30～39歳	70	74.3	18.6	4.3	1.4	1.4	—
	40～49歳	107	67.3	22.4	5.6	3.7	—	0.9
	50～59歳	109	63.3	18.3	10.1	4.6	1.8	1.8
	60～69歳	147	43.5	25.9	19.0	7.5	1.4	2.7
	70～79歳	158	41.1	24.7	20.3	9.5	1.9	2.5
80歳以上	63	31.7	25.4	14.3	9.5	7.9	11.1	

区分		回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	無 回答
性別	男性	276	39.9	19.2	24.6	10.1	3.3	2.9
	女性	421	51.1	19.7	17.3	5.9	3.6	2.4
年齢別	18～19歳	60	81.7	13.3	1.7	1.7	1.7	—
	20～29歳	84	70.2	19.0	6.0	2.4	2.4	—
	30～39歳	70	75.7	15.7	8.6	—	—	—
	40～49歳	107	65.4	16.8	11.2	4.7	0.9	0.9
	50～59歳	109	53.2	23.9	15.6	2.8	1.8	2.8
	60～69歳	147	36.7	21.1	29.3	8.8	1.4	2.7
	70～79歳	158	29.7	19.0	28.5	13.3	7.0	2.5
80歳以上	63	19.0	17.5	27.0	14.3	11.1	11.1	

ウ 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるべきだ

エ 子どもが3歳くらいまでは、母親は育児に専念するべきだ

単位：％

区分		回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	無 回答
性別	男性	276	12.3	25.4	30.4	12.7	16.3	2.9
	女性	421	5.5	14.5	32.1	18.5	26.8	2.6
年齢別	18～19歳	60	1.7	16.7	30.0	21.7	30.0	—
	20～29歳	84	7.1	15.5	26.2	15.5	35.7	—
	30～39歳	70	4.3	18.6	32.9	8.6	35.7	—
	40～49歳	107	4.7	14.0	33.6	19.6	27.1	0.9
	50～59歳	109	3.7	15.6	36.7	16.5	24.8	2.8
	60～69歳	147	7.5	18.4	34.0	17.0	20.4	2.7
	70～79歳	158	12.7	22.8	28.5	17.7	15.2	3.2
80歳以上	63	14.3	23.8	22.2	17.5	11.1	11.1	

区分		回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	無 回答
性別	男性	276	12.7	25.4	32.6	10.5	15.6	3.3
	女性	421	10.5	19.2	29.0	16.9	21.9	2.6
年齢別	18～19歳	60	8.3	18.3	35.0	23.3	15.0	—
	20～29歳	84	8.3	10.7	33.3	23.8	23.8	—
	30～39歳	70	2.9	10.0	31.4	20.0	35.7	—
	40～49歳	107	3.7	20.6	29.0	15.0	30.8	0.9
	50～59歳	109	8.3	19.3	40.4	12.8	16.5	2.8
	60～69歳	147	9.5	24.5	32.0	16.3	14.3	3.4
	70～79歳	158	20.3	30.4	25.3	7.0	13.9	3.2
80歳以上	63	22.2	23.8	22.2	11.1	9.5	11.1	

【表5-1 家族に関わるいろいろな見方や考え方（性別・年齢別）】

オ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ

カ 妻が働いていなくても、夫も家事・育児をすべきだ

単位：％

区分		回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	無 回答
性別	男性	276	3.3	10.9	35.1	17.0	30.8	2.9
	女性	421	2.1	7.4	21.9	20.7	45.4	2.6
年齢別	18～19歳	60	—	1.7	20.0	26.7	51.7	—
	20～29歳	84	1.2	4.8	25.0	19.0	50.0	—
	30～39歳	70	1.4	1.4	20.0	22.9	54.3	—
	40～49歳	107	0.9	11.2	18.7	16.8	50.5	1.9
	50～59歳	109	1.8	4.6	35.8	16.5	38.5	2.8
	60～69歳	147	3.4	11.6	24.5	20.4	37.4	2.7
	70～79歳	158	2.5	12.0	32.3	20.3	30.4	2.5
	80歳以上	63	6.3	7.9	25.4	20.6	28.6	11.1

区分		回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	無 回答
性別	男性	276	30.4	35.9	22.8	5.1	3.3	2.5
	女性	421	36.8	34.7	17.6	5.7	2.4	2.9
年齢別	18～19歳	60	36.7	35.0	23.3	3.3	1.7	—
	20～29歳	84	34.5	42.9	14.3	4.8	3.6	—
	30～39歳	70	52.9	30.0	15.7	—	1.4	—
	40～49歳	107	51.4	29.0	16.8	0.9	0.9	0.9
	50～59歳	109	32.1	36.7	18.3	6.4	4.6	1.8
	60～69歳	147	31.3	39.5	19.0	4.8	2.7	2.7
	70～79歳	158	23.4	36.7	26.6	8.9	1.9	2.5
	80歳以上	63	20.6	30.2	17.5	12.7	4.8	14.3

キ 自分の身内は同和地区出身者と結婚してほしくない

ク 結婚したら妻は夫の姓を名乗る方がよい

単位：％

区分		回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	無 回答
性別	男性	276	6.2	10.1	40.6	14.1	26.1	2.9
	女性	421	6.7	13.8	36.1	12.8	27.8	2.9
年齢別	18～19歳	60	1.7	—	25.0	11.7	61.7	—
	20～29歳	84	2.4	7.1	32.1	11.9	46.4	—
	30～39歳	70	11.4	4.3	32.9	12.9	38.6	—
	40～49歳	107	2.8	11.2	33.6	17.8	32.7	1.9
	50～59歳	109	3.7	11.9	44.0	16.5	21.1	2.8
	60～69歳	147	6.1	10.2	42.2	14.3	24.5	2.7
	70～79歳	158	8.9	16.5	41.8	8.9	21.5	2.5
	80歳以上	63	6.3	22.2	25.4	9.5	23.8	12.7

区分		回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	無 回答
性別	男性	276	15.6	24.6	37.7	4.3	14.9	2.9
	女性	421	13.3	16.6	43.9	6.7	16.6	2.9
年齢別	18～19歳	60	1.7	11.7	43.3	11.7	31.7	—
	20～29歳	84	4.8	13.1	44.0	10.7	27.4	—
	30～39歳	70	5.7	15.7	50.0	5.7	22.9	—
	40～49歳	107	10.3	15.9	43.0	3.7	26.2	0.9
	50～59歳	109	10.1	17.4	44.0	7.3	18.3	2.8
	60～69歳	147	10.2	20.4	49.0	4.8	12.2	3.4
	70～79歳	158	22.8	29.7	30.4	5.7	8.9	2.5
	80歳以上	63	31.7	7.9	30.2	6.3	11.1	12.7

【表5-1 家族に関わるいろいろな見方や考え方（性別・年齢別）】

ケ 男どうし、女どうしの結婚も認めるべきだ

区分		回答者数(件)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	276	14.5	13.4	33.7	13.8	21.7	2.9
	女性	421	23.0	19.0	33.3	10.0	11.6	3.1
年齢別	18～19歳	60	43.3	21.7	25.0	3.3	6.7	—
	20～29歳	84	51.2	19.0	22.6	4.8	2.4	—
	30～39歳	70	40.0	25.7	24.3	1.4	8.6	—
	40～49歳	107	30.8	25.2	30.8	1.9	10.3	0.9
	50～59歳	109	21.1	19.3	43.1	4.6	10.1	1.8
	60～69歳	147	13.6	19.7	37.4	14.3	12.2	2.7
	70～79歳	158	7.6	5.1	35.4	22.8	25.9	3.2
	80歳以上	63	3.2	1.6	27.0	19.0	33.3	15.9

コ 自分の身内が外国人と結婚することには抵抗がある

単位：％

区分		回答者数(件)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
		276	5.4	13.0	27.5	21.0	30.4	2.5
		421	4.5	8.3	18.8	21.9	43.9	2.6
		60	1.7	3.3	23.3	16.7	55.0	—
		84	2.4	10.7	15.5	11.9	59.5	—
		70	5.7	4.3	15.7	18.6	55.7	—
		107	2.8	4.7	15.9	32.7	43.0	0.9
		109	5.5	7.3	24.8	18.3	42.2	1.8
		147	1.4	12.2	17.0	25.2	41.5	2.7
		158	7.6	18.4	31.6	16.5	23.4	2.5
		63	9.5	11.1	28.6	15.9	22.2	12.7

サ 自分の身内に同性愛者はいてほしくない

区分		回答者数(件)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性	276	22.5	26.8	26.1	9.4	12.3	2.9
	女性	421	15.2	21.4	26.4	10.5	24.0	2.6
年齢別	18～19歳	60	3.3	10.0	25.0	11.7	50.0	—
	20～29歳	84	6.0	13.1	31.0	10.7	39.3	—
	30～39歳	70	7.1	17.1	27.1	15.7	32.9	—
	40～49歳	107	10.3	15.9	23.4	19.6	29.9	0.9
	50～59歳	109	9.2	22.9	35.8	7.3	22.9	1.8
	60～69歳	147	16.3	29.3	32.7	6.8	12.2	2.7
	70～79歳	158	32.9	27.8	17.7	7.6	10.8	3.2
	80歳以上	63	34.9	25.4	19.0	4.8	3.2	12.7

シ 自分の身内が未婚のまま子どもを産むことは好ましくない

単位：％

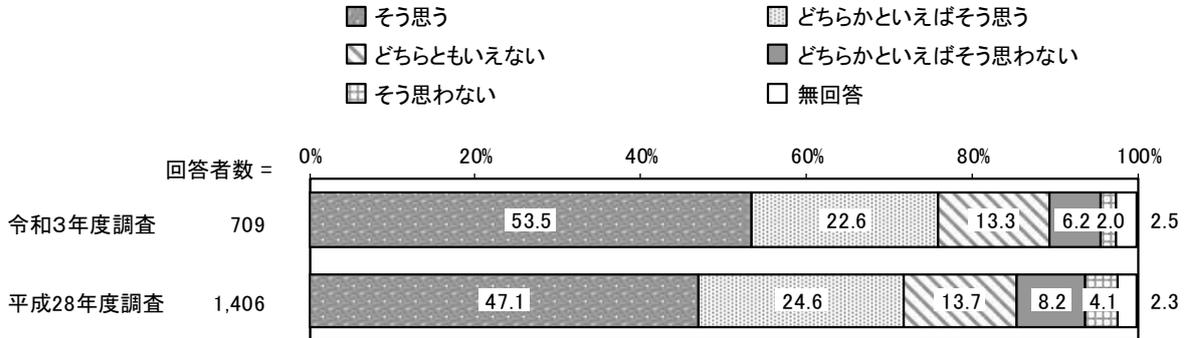
区分		回答者数(件)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
		276	26.1	34.8	19.6	5.4	11.2	2.9
		421	18.8	26.8	28.0	10.5	13.3	2.6
		60	15.0	26.7	30.0	16.7	11.7	—
		84	17.9	19.0	34.5	9.5	19.0	—
		70	17.1	22.9	28.6	11.4	20.0	—
		107	16.8	40.2	20.6	4.7	16.8	0.9
		109	16.5	27.5	27.5	11.9	13.8	2.8
		147	19.0	29.9	28.6	8.2	11.6	2.7
		158	28.5	33.5	24.1	3.8	7.0	3.2
		63	38.1	25.4	9.5	12.7	3.2	11.1

性別でみると、“ア 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい” “イ 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない” の項目において『そう思う』の割合が男性に比べ、女性で高くなっています。また、“オ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ” “コ 自分の身内が外国人と結婚することには抵抗がある” の項目において『そう思わない』の割合が男性に比べ、女性で高くなっています。

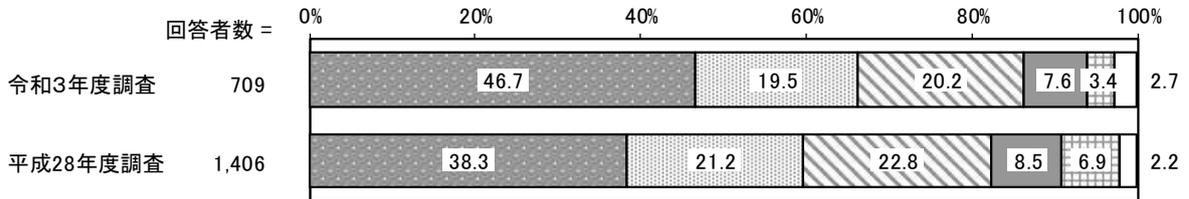
年齢別でみると、“ア 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい” “イ 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない” “ケ 男どうし、女どうしの結婚も認めるべきだ” の項目において年齢が低くなるほど『そう思う』の割合が高くなる傾向がみられます。また、“キ 自分の身内は同和地区出身者と結婚してほしくない” “サ 自分の身内に同性愛者はいてほしくない” の項目において年齢が低くなるほど『そう思わない』の割合が高くなる傾向がみられます。また、20～29歳で“ケ 男どうし、女どうしの結婚も認めるべきだ” の項目において『そう思わない』の割合が、70～79歳、80～89歳で“サ 自分の身内に同性愛者はいてほしくない” “シ 自分の身内が未婚のまま子どもを産むことは好ましくない” の項目において『そう思う』の割合が高くなっています。

【図5-2 前回調査との比較】

ア 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい



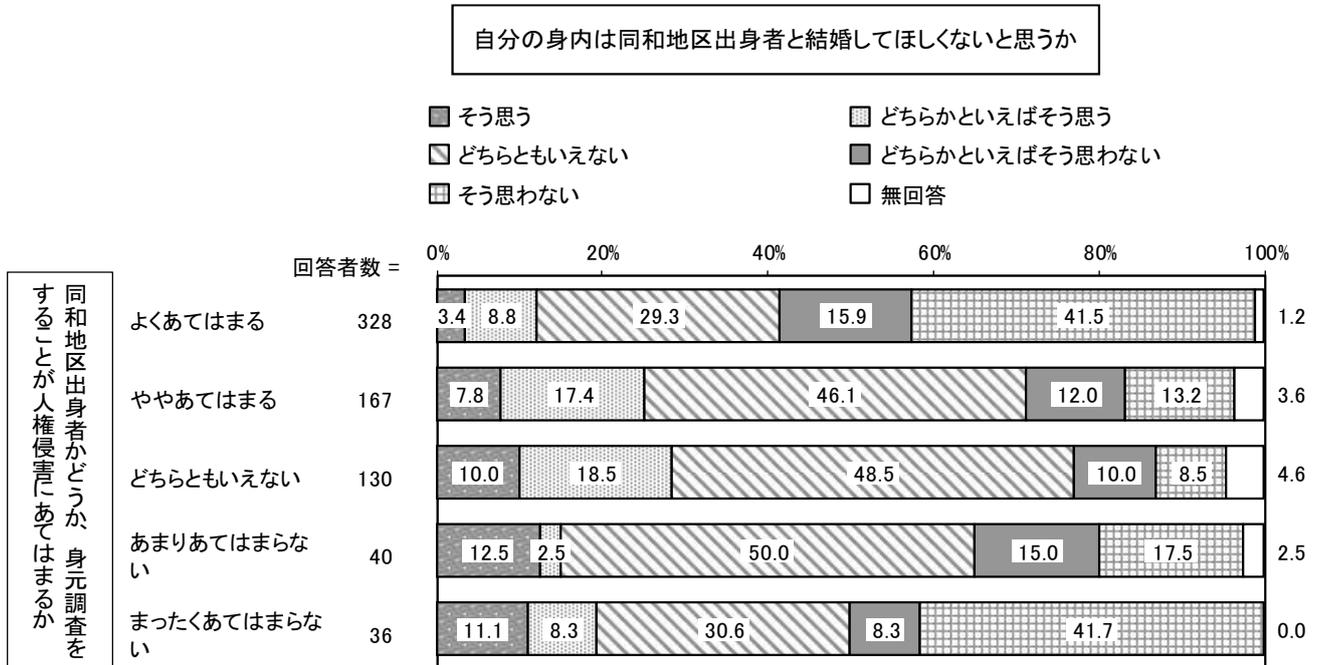
イ 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない



前回調査と比較すると、“ア 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい”では「そう思う」の割合が6ポイントほど増加しています。また、“イ 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない”では『そう思う』の割合が増加しています。

【図5-3 同和地区出身者かどうか、身元調査をすることが人権侵害にあてはまるか】

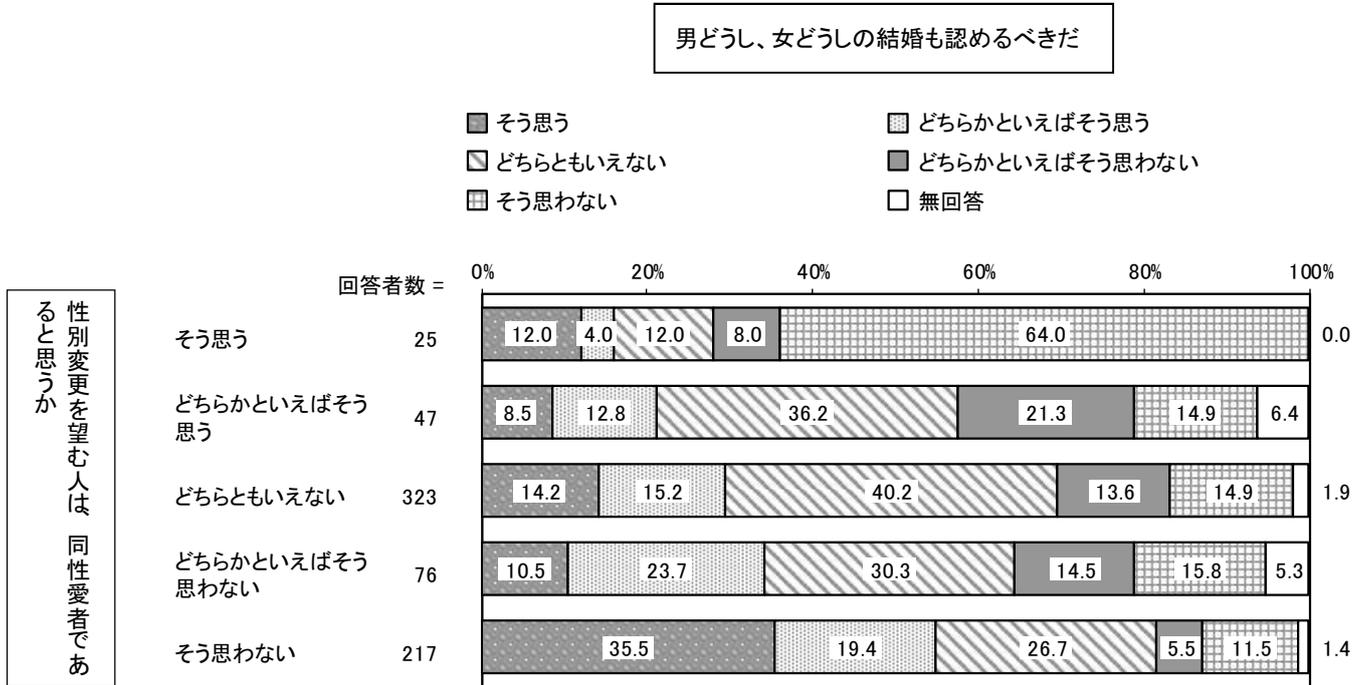
キ 自分の身内は同和地区出身者と結婚してほしくないと思うか



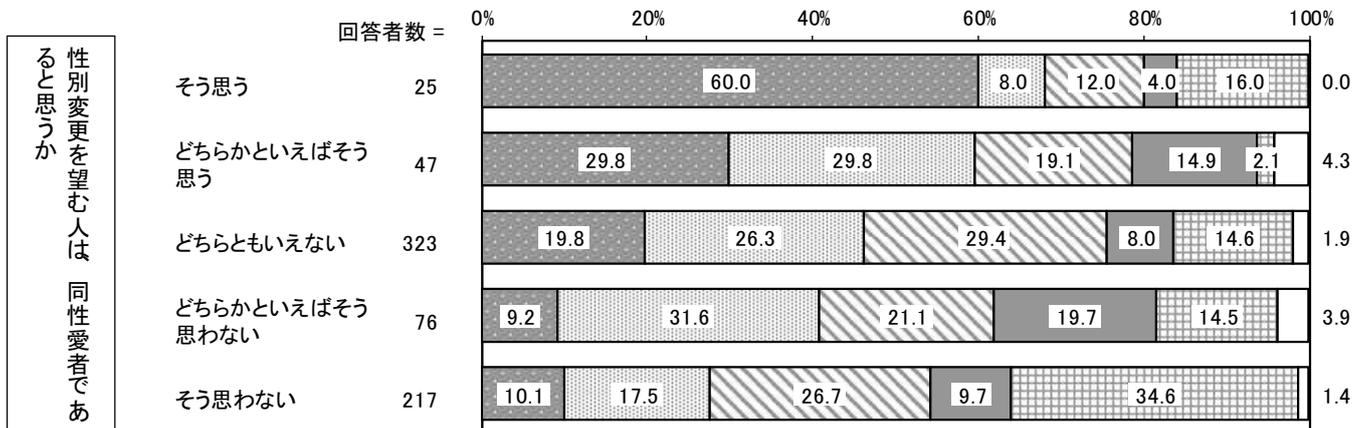
問2 “オ 結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか、身元調査をすること” について人権侵害に「よくあてはまる」と回答した人は、「よくあてはまる」以外の回答をした人よりも、“キ 自分の身内は同和地区出身者と結婚して欲しくない”で『そう思わない』と回答する割合が高くなっています。

【図5-4 性別変更を望む人は、同性愛者であると思うか】

ケ 男どうし、女どうしの結婚も認めるべきだ



サ 自分の身内に同性愛者はいてほしくない



問12 “エ 性同一性障害のために、性別変更を望む人は、同性愛者である” と思うかについて「そう思う」と回答した人は、“ケ 男どうし、女どうしの結婚も認めるべきだ” について『そう思わない』と回答する割合が高くなっており、“サ 自分の身内に同性愛者はいてほしくない” については『そう思う』と回答する割合が高くなっています。